京城日報 夕刊

齋藤全權夫妻 健かに帝都入り

直ちに牛込の自邸へ

【一月ぐらひで朝鮮に歸る】

【東京特電】大任を果して歸朝した齋藤總督一行は神戸まで出迎へた……

一ヶ月の豫定で其後朝鮮に歸任の筈である。ジュネーヴにゐる間二三日ちよつと病氣したのみで別に疲勞も感じない

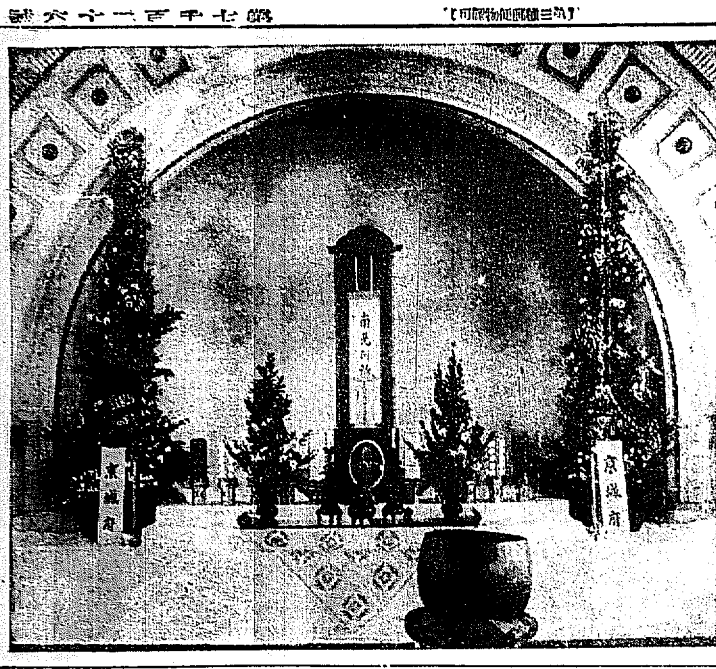
總督の事務引繼

會議の模樣を 具さに伏奏

齋藤全權けふ參內

【特に優諚を賜ると拜す】

中の御都合が伺ひたる後に……りジュネーヴにおける軍備縮小會議の顛末を具さに伏奏する事になつて居る、その際畏き邊りでは齋藤總督が全權として會議のため努力したる功勞に對し特に優諚を賜る……と恐はる宮內は多分午後二時頃となら う



山縣公追悼會(けふ公會堂て)

けふ正午迄の 各派當選數

【東京電報】廿七日正午迄の各黨派別當選數左の如くである

△政友三百八十六名 △民政三百四十七名 △中立五十五名 △無產十九名

民政黨優勢 與黨の牙城に迫る

政友との差違を六七十名とみる

郡部では政友が優勢

【東京電報】府縣會議員その後の當選左の如し

政友會慘敗す

京都府の反政府熱濃厚

可決された軍縮保障決議案

一九二八年度の

國聯委員會の順序を決定

悠々たる奉天の楊氏

國際航空委員任命

貴族院議員 田中館愛橘

徐謙氏が辭職聲明

各方面へ長文の通電

新任省長は廿七日着奉

東北地方に棄權續出

その最高率三割に達す

來月早々に駐屯軍の交代

第九師團の新年次兵と 陸軍當局の發表

けふ嚴かに故公の追悼會

公會堂において數百名が參集して

悲しく淸楚に

弔詞

弔電

國民黨の淸黨運動

三月以降の逮捕者二千名

愈よ生れる女子青年團

支部總會廿七日も開會

府尹郡守會議日程

故中西淸一氏敍勳

神宮參拜

會

人

對山錄

劍俠艶魔

幕末秘錄

(五三) 渡邊默禪

凄い隻眼

あすの天氣 [28]

晴後曇

溫度	
廿六日正午	[illegible]
廿五日最高	[illegible]

仁川潮滿表 (廿八日) 午前本時四十分 午後六時五十五分

治淋新藥 ゴノナール 大阪市 西村久合名會社 發賣元

今も 昔も 效能で賣れる ちふくひふくや ひふくぐすり 大阪高津表門筋 本家ちふくや伊藤長兵衛

あんまの瓶詰 アンメルツ キ、メ早いが特色也

肝油 滋養强壯 眼鏡印肝油 大阪 伊藤千太郎商會

調味料 味之心 一匙の味之心 家族全部に舌づゝみを鼓たす 發賣元 三菱洋行 東京・大阪

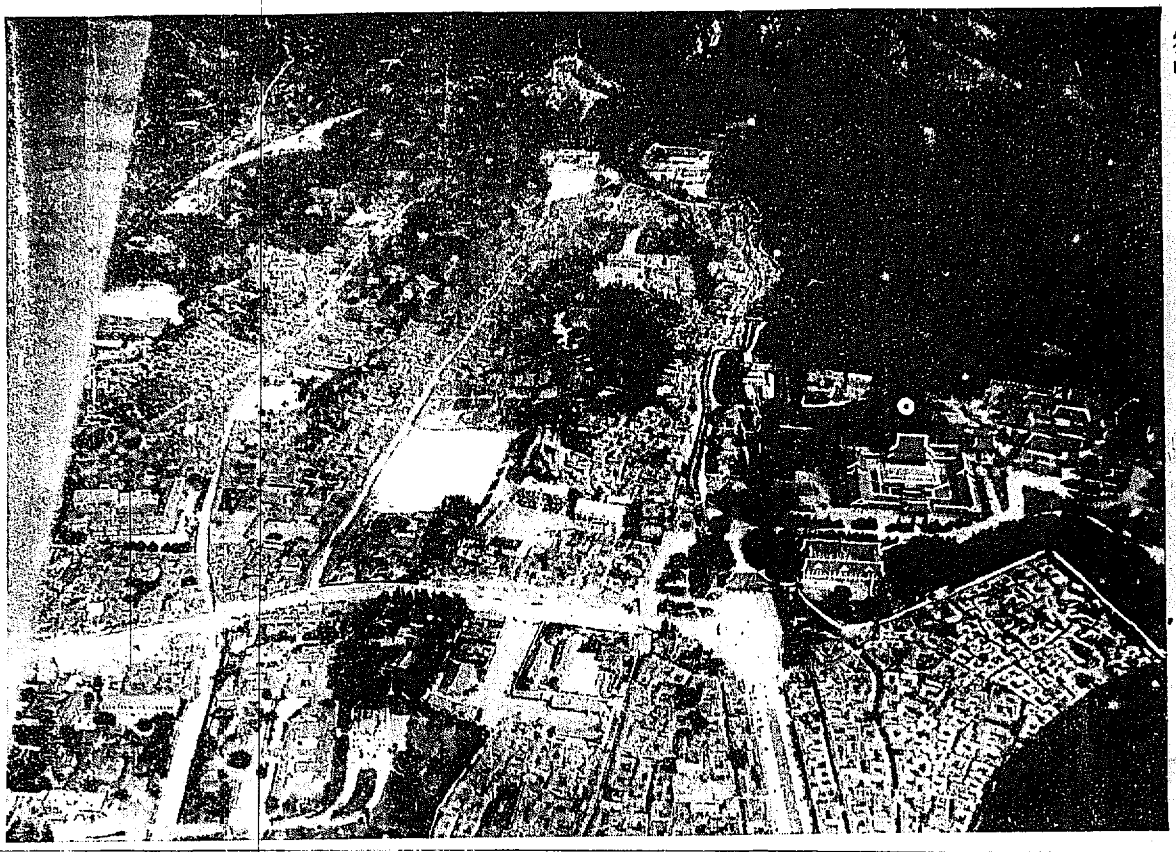
壜國ボーランド會社製 吹奏樂器新着 三木樂器店 大阪市東區北久寶寺町四

本欄特別廣告一手扱 大阪 第一廣告社

機上撮影【四】

西尾機に同乘して 本社寫眞部主任 河野佐市

空中より見たる京城府の一部 ○印は昌德宮の一劃



設計が出來た太平洋横斷飛行機

一番乘の一擧を我手に収めんと國家的に後援運動

【東京電話】太平洋横斷機の一番乘功名は、是非我國の手に收めたいとの切なる念願から、帝國飛行協會では各種の準備を進めつゝあつたが神戸川西飛行機製作所から技師長上京したので、二十七日……設計圖を……

……MW式百馬力……八千三百五十キロメートル……

……太平洋横斷飛行の計畫……サンフランシスコ……

高慢な米人の鼻を明して遣り度い

第二國民の後援を望む 谷田理事語る

廣東軍將校が横斷計畫を發表

來春決行すると ニューヨークで

【ニューヨーク廿五日發】目下アメリカ各地を旅行中なる廣東軍……

仁川沖の孤島を荒した支那賊兒

女に暴行した形跡はない 大石仁川署長語る

【仁川電話】……ジャンクの……

昌慶苑の盗難事件

迷宮に入る

【パリー發聯合】フランスの……

【パリー發聯合】フランス……

【メキシコ廿五日發聯合】……

電話工事に理不盡な妨害

飽迄不屈な奉天當局

【奉天廿七日發】奉天郵便局にては本日左の如く發表した……

不許可警官立入りは司法權の侵害だ

辯護士側から強硬に裁判長に持ち込む

朝鮮共産黨事件公判……

京城府の體育デー

プログラム成る

京城府の體育デーは本年……

社交界の異彩（七）

深紫の洋裝に無雜作な錦紗の羽織

朱唇を衝いて出る衣裳哲學 草間夫人と語る

てゐるやうな感じがあります。

蛤洞の山中に縊死

土工の喧嘩

モヒ密賣犯人

郵便飛行明日出發

猫イラズで一芝居

本町の洋服職工

西小門町に死體

金細工職人の厭世自殺

リ氏夫妻出發

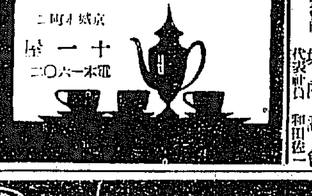
大正會

爲替手形紛失廣告

堀内商會

東洋製菓の トッケスビ

コーヒー・紅茶・茶碗・各種 京城本町二丁目 十一屋 電本一六二〇



開院廣告

九月廿四日開院 縱覽御隨意

各科醫學博士擔任

門司綜合病院

株式募集公告

慶北漁業株式會社創立事務所

人絹製品並に最格安品豊富

半襟 高 高村武商店

大阪市東成區東小橋町一九

有利ナル好事業 取扱所募集

大藏大臣免許ある債券公債販賣契約取扱所

日本厚生株式會社

月收參百 外務社員募集

赤本 川津書店

五番印 英國ウヰスキー 大中小

九月廿八日ヨリ 五日間 冬衣大賣出し

あわじや 江頭衣服店 京城本町二丁目 電本一三一五番

◇…秋のかみ◇…

夏の涼しさうな結び方に引かへて秋は大自然の凋落氣分に伴ひ人の心も自然に淋しくなり勝ですから髮だけは華やかさをねらつてこの氣分をひき立てゝ行かうと云ふところに特長があります從つて耳などもすつかりかくして調和をつけてあります。寫眞は府下新町から踊つた明治町海湖千代子さんの手になつた在來様向の髮であります

島田よりは洋髮

結婚式にも…◇

新らしい時代の要求

結婚式―［illegible］

身命を賭して空を翔るの記（中）

西尾機に同乗して

今田生

寢つかれなかつたその夜、それでも一睡して目をさましたのが午前四時半頃、［illegible］

◇見ると機は二臺、一は故障の時の豫備機である。集まる所河野本社總局長、［illegible］部主任を筆頭に大勢、東亞日報、それに新聞記者の五［illegible］

◇［illegible］

◇やがて一人々々機上の人となる。記者はその服をつとめなければならなかつた。［illegible］飛行服をまとひ目鏡をつけてゐる筆者の姿はさすがに空の勇者のそれの如くである。

◇［illegible］

◇［illegible］

感覺訓練を主眼とせよ

幼稚園教育

［illegible］

鷲を鶏に…◇

米貨改造案

アメリカの鷲はわれ等市民の性格を象徴するものでないとの理由でデトロイト市の牧師で前デンバー市にゐたダム。レーマス氏はアメリカ貨幣に描かれてゐる鷲を鶏にかへて貰ひたいと政府當局に望んでゐる彼れのいふところが面白い、『鷲は人類に［illegible］鋭い爪を立て、人類又は他の鳥類に危害を加へるべく隙をねらつてゐるに過ぎない』と（デクバー發特信）

お師匠さんを訪ふの記

神戸の本場で鍛へ上げた腕

浪花節 沼旭龍さん

府内長谷川町の鍛冶屋長屋の一部の小窓から絃歌盛んに稽古のしらべがきこえる。聲色の主、それは今年とつて廿三といふ若い女性沼旭龍さんである。

◇筑前琵琶に身をゆだねたのが今から八年ほど前、日本一の聲ある神戸の浪花節松園旭洲師の弟子となつて腕をみがくこと數年、その天才的の美聲と、技藝に對する熱心な研究熱とは、遂に多き他の弟子たちを追ひこして免許皆傳をうけて歸鮮したのが今年の五月であつた先日公會堂で催したあの揚屋大會に、得意の『［illegible］』の一曲を奏して好評であつたのも［illegible］

『いや私の様な未熟なものが師匠の看板をあげるのはなんだかお恥づかしい様な氣もしますがそれ［illegible］

◇さすがに神戸の本場で鍛へた腕だけに、その五弦から洩れる音は人々を魅了させずにはゐない。でもこの道のためにと思つてこの十月からいよ〳〵初める事にしてゐます。十月の初めに松岡旭洲師匠が私の披露かた〴〵お見えになる事になつてゐます。その時は又どうぞ』と、靨にほゝえみをもらしてゐた。

JODK プログラム

九月二十八日（水曜日）

午前九、〇五　定期放送

〇、三〇　講演　日本文學雜話　［illegible］

一、三〇　定期放送

童謠獨唱及合唱［illegible］

放送映畫劇『落花流水』［illegible］　カナタ何日

伴奏　D.S合誌［illegible］

ニュース其他

三曲合奏　玉のうてな　尺八 佐藤令山　三味線 中島大検　箏 太田大勾當

極東オリムピック大會に參加して　有馬良男

清元十六夜清心　唄 秀小松秀次　三味線 富美の家久子

浪花節柳生二蓋笠　日吉川小秋水

翌日プロ發表

進歩した齲齒の研究

英國メ氏提唱

豫防齒學の研究盛んな現代では齒牙衛生には［illegible］その一つ口腔衛生、齒牙衛生に研究が進められた英國のメランビー氏は、［illegible］

將棋新手合（二）

［illegible］

長唄演奏會

廿日公會堂で

［illegible］

荒浪地獄（七十九）

悟道軒圓玉述　藤井耕遠畫

［illegible］

寫眞は本町二ワタナベへ　電話本局三九二

時計ハ村木　京城

さぐ話

［illegible］

九月廿八日

［illegible］

クラブ美身クリームの大懸賞

懸賞

アレ、ヒヤケ止め愛用の　クラブ美身クリーム
脂肪性の方に　クラブバニシングクリーム
アレ性の方に　クラブコールドクリーム
美顔術用に　クラブマツサークリーム

懸賞課題

(1) 左圖の空白になつてゐる四ッの〇の中へ適當の文字を入れるとアレ、ヒヤケ止め愛用の日本で有名な國産優良クリームの名になります

(2) この廣告の中に「アレ、ヒヤケ止め」の文字が幾つありますか（但しこの行のアレ、ヒヤケ止めの文字を除きます）

クラブ〇〇ク〇〇ム

解答送り先　解答は最寄の化粧品販賣店へ御屆け下さい　但し販賣店が遠距離の場合は直接大阪市浪速區水崎町中山太陽堂懸賞係へ開封にして二錢切手貼用の上お送り下さい

締切　昭和二年十一月三十日限り

發表　昭和二年十二月下旬

審査方法　正解者多數の場合は新聞社、通信社立會の上嚴正に抽籤し當選者を決定す

應募規定

一、用紙　官製端書の「クラブ〇〇ク〇〇ム」の圖の中にある雛型の如く明瞭に御書入れ下さい。

一、書き方　(1)の問題の化粧品名と (2)の問題の數を記入すること

一、住所氏名　應募者の住所氏名を明記して下さい

一、販賣店名　前記問題の「クラブ〇〇ク〇〇ム」を御買求めになつた販賣店の住所と店名を記入して下さい

一、新聞名　この廣告を御覧になつた新聞名を記入すること。

賞品總額	金貳千六百六拾圓也		
壹等	金拾圓也	勸業債券壹枚宛	五拾名	金五百圓也
貳等	金五圓也	勸業債券壹枚宛	壹百名	金五百圓也
參等	クラブ化粧品詰合函	金壹圓四拾錢也 壹箱宛	五百名	金七百圓也
四等	カニイ石鹸	壹個宛	壹千名	金參百圓也
五等	クラブ石鹸	壹個宛	壹千五百名	金參百圓也
六等	クラブ歯磨	壹個宛	貳千名	金貳百圓也

募集

販賣店御優待

(一) 販賣店にてお取扱になりました前記愛用者各位よりの解答は五拾枚宛を一括して可成其都度弊店懸賞係へ御送り下さい

(二) お取扱の解答は最終十二月十日迄に御送附下さい。

第一優待　優勝旗謹呈　前記愛用者壹等當選者の御買求め店を優勝旗當選店として美麗なる優勝旗謹呈

第二優待　景品謹呈　前記愛用者貳等當選者の御買求め店又は五十枚以上取纏め御屆けの御店に對し左記景品を嚴正に抽籤の上進呈致します

壹等　金拾圓也（クラブ化粧品）　五十名

貳等　金五圓也（全上）　五十名

參等　御店用繁昌幟旗（一本宛）　五十名

四等　金壹圓也（クラブ化粧品）　壹百名

五等　金參拾錢也（全上）　殘全部

アレ日ヤケ止めに一番よい　クラブ美身クリーム　クラブ頬紅

今後の財界如何

農村の購買力が増加するか　有頂點になるのは尚早か

財界はいよ〳〵秋期に入つたが季節向きの商品は荷行き良好に移入品中綿糸布、綿布、鐵材等の荷行きは可なり良好で季節向きの商品は相當活氣を呈しており、かつ銀行に於ける預金および貸金の移動も前年同期と大差なき模様で、あるこれによつて見れば財界は不況といふものゝ今後の米價如何によつては豐作入値も手傳つて地方の購買力は案外良好であらうと觀測する向き多く、財界はいよ〳〵不況の底を入れ漸次好轉の曙光を辿るのではないかとの觀測も行はれてゐる、然し一部では又右のやうな内地財界に對する觀測もあり、引いては朝鮮財界も未だ樂觀出來ぬとも見られてゐる

現今朝鮮財界の原因は財界に於ける重要問題即ち休銀の整理川崎造船所破綻の整理其他が著しく難渉し、解決の曙光が認められないため久しく沈滞裡に低迷して居た人氣も一種の好感を與へられ一方貿易事情の好轉等に依り現はれたものらしいが一般の財界はまだ〳〵安定を得たものとは認め得られない殊に外國の爲替相場の變動を不安料が相當強調されて居る今日、株價の氣配が何時迄も續くものと見るは疑問とする所である、今後經濟界の推移が充分に見透しに立ち兼ねる際株式類の値頃が高過ぎることは、前途反動があるものと見ければならない、此の際値頃天になるのは、大に戒めなければならないと思ふ

洋灰販賣戰

眞劍味を加ふ

昨年來朝鮮のセメント販賣値段協定が撤廢されて各社の販賣戰が漸まり、昨今は需要期に入つて一層激烈となつて來た、即ち全鮮の總需要量は一ヶ年約九十萬樽であるが供給會社は小野田セメント工場を初め淺野、豐國、大日本、宇部、日本セメントの各社を網羅し供給割合はその五割五十萬樽を小野田で占め淺野が二十萬樽、宇部、大分、日本の各社が二萬五千樽づゝとなつてゐるが、朝鮮に工場所在の小野田は頗る優越な地位にあり、工場所在の強味から見ても西鮮北鮮方面は他社のおよばぬ強固な販路を持つてゐる、しかし南鮮方面は運賃の關係上から内地品に壓迫され勝ちで、殊に昨今は内地各會社が手持品の過多に苦しみ小野田品の一樽五圓五十錢に對し淺野は五圓卅錢、豐國、大分、日本各セメントが五圓卅錢見當で宇部セメントの如きは五圓見當の安値で競賣してゐるので鮮品は内地品との競爭は小野田側が困難な立場にあるしかし小野田は新らに成川邊川内に勝梁は二百五十萬樽を生産しうる設備を有し、近く一部工場を建設することになつたが、かくて大生産によつて價格の引下げを行ひ内地品と競爭すべく計畫してゐる、要するに需要期となつた昨今京城を中心にした全鮮に亙る激烈なフン戰が演じられしかも各社の販賣戰けいよ〳〵眞劍味を加へて來た

第十回全鮮穀物大會

頗る盛大に開かる

内鮮滿の權威を網羅して

【武藤特派員發清州特電】第十回全鮮穀物大會は二十七日［illegible］

答申案總會

次回の日取未定

京城組合銀行の金融調査機關に對する答申案は去る廿一日の組合銀行の臨時總會に附議したが議論があつたのみで成案を可決するに至らず、次ぎの總會に持ちこされた、次ぎの總會には答申案に［illegible］するはずであるが、今の所格別の事も未完成であり、第一回の總會後委員會もなかつたので、次ぎの總會の日取りも未定である、金融調査會は今頃會中なので答申を取纏く必要もない、結局答申が提出されるのは十月末であらうと

内地米

更に買入れ

一萬一千六百廿石

【東京電報】二十六日農林省の決定した内地米買入數量は二萬九百六十一俵（一萬一千六百四石四斗）でかくて買入數量は累計五萬八千八百六十五俵（二萬三千五百四十五石二斗）となつた

對外爲替軟調

廿七日の對外爲替は對英一志十片卅二分の廿七對米四十六弗十六分の五と前日に比べて何れも十六分の一ポイント方低落し、上海向けは七十四兩四分の五と八分の三方昇騰した對英米爲替は強硬裡に漸々と軟調な歩調を示して一時小波瀾を見せて爾後軟調を呈し保合の商况となつたこれは日本銀外拂貨の賣出一巡となり、これからは輸入期に入るのでぼつ〳〵その手當を［illegible］

殖債券賣切れ

非常な盛況

朝鮮殖産銀行債券［illegible］千萬圓は二十六日東京市場で賣出したが當日［illegible］債券決定後賣出債券が六分五厘［illegible］

［illegible］バーとなつたがこれは小額であるが既設七分の殖産債が三四十錢のプレミアムがついてゐるが今回のは今すぐプレミアムがつくかどうかは判らないと

印度の

綿糸布關稅

廿二日から實施

【東京電】過般印度議會を通過した綿絲關稅引上げは二十二日から實施されたが、綿布は來年から實施される

本年の

石炭需要

七十萬トンか

鮮内の石炭の需要は逐年増加しつゝあるが昨年度の採炭量は六十五萬八千四百二十九トン（内有煙炭一十一萬二千七百十トン無煙炭五十四萬五千七百十九トン）で販賣高は前年度の繰越炭を合せて六十九萬八千四百十八トンを示してゐるが本年度の採炭状况は各炭礦共作業順調で何れも平均一割以上の增加の豫定であるから今年は少しも七十萬噸を突破するであらうと觀測されて居る。各炭礦の豫想トンは左の通り（單位トン）

▲鳳山八〇、〇〇〇▲生氣嶺三四、〇〇〇▲安州四五、〇〇〇▲羅北一、八〇〇▲咸興七五〇〇▲朱乙郵田二五〇▲通川六〇〇

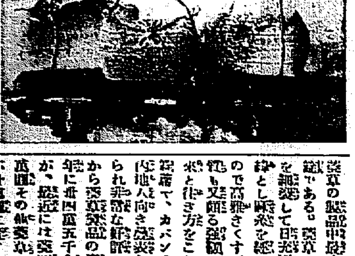
物産物語

莞草製品

高雅掬すべし

（一）

朝鮮特有の物産として特に賞翫さるべきものに莞草もしくは藺の天日草の製品がある。莞草は朝鮮の特産植物で主として慶南、忠北方面に栽培され慶南昌原が其の中心市場である。莞草の地方を旅する人々はよく水田一面に内地に見る藺のやうにふさ〳〵と繁茂ししかして藺よりも長く伸びた草が栽培されてゐるのを見かけるであらう。これが莞草である。



莞草の製品中最も普遍的なものは蓆である。莞草の表皮をはぎこれを細裂して曝光漂白をしたものを緯とし麻絲を經として織成したもので高雅さ掬すべきものがあり色も又頗る鮮麗である。近頃は従來と行き方をことにした新らしい製帽で、カバン、スリッパおよび内地人向き盛裝などの製品が試みられ非常な好評を博してゐる。だから莞草製品の産額は明治四十四年に廿四萬五千餘圓であつたものが、最近には莞草蓆だけで百八十萬圓その他莞草品および天日草製品が廿萬圓に達するといふ勢ひである。（寫眞は莞草及び天日草製手提）

内地

夏秋蠶豫想

二分、二厘增收

農林省發表九月一日現在内地夏秋蠶豫想掃立枚數は總數一千五百十一萬四千三百六十枚、うち白繭種一千二十一萬七千九百六十枚、黄繭種二十五萬六千四百枚で前年夏秋蠶の掃立枚數に比して二十二萬四千八百四十二枚、即ち二分二厘の增加である。しかして以上の如く增加豫想は糸價低落の影響により地方的には掃立を手控へた向あるも一般桑園の增加と桑樹發育良好であつたに因ると

農林省が

木關稅改正か

滿洲側焦慮す

滿洲政府では滿洲林檎輸入防遏のため關稅に關する特惠撤廢を企圖し滿洲側は安東輸林場の死活問題として頗にこれに反對してゐたが最近に至り農林省で現行木材關稅を改正して外材の輸入關稅を引上ぐる意嚮ありと傳へられてゐる農林省の改正方針は現行木材關稅率の（從價の約九分）に假定的改正

金電の

事業計畫

新線延長と第二發電所新築

金剛山電氣鐵道本年下半期事業は昌道、縣里間十マイルの新延長線の工事に着手し約三分の一を終る見込みであるが所要資金は約二百萬圓に達するはず、なほ豫算收支は營業收入十三萬一千百八十五圓營業費二萬四千百六十二圓十六錢差引十一萬四百八十圓の收益を見込み前期より一萬四百八十圓の增收となる見込みである。なほ今期の政府補助金は二十九萬七千四百六十三圓の豫定であるが營業の發展に伴ふ電力では今期中に卅七萬圓を投じて香泉里に第二發電所を新設する計畫であると

石炭購入始まる

冷氣加はり各官衙、會社の石炭購入が念始まつた廿六日京城遞信局は内地炭三百噸、朝鮮炭六十噸の購買入札行はれたが開札の結果左の通り落札した

▲十五圓七十五錢宮尾塊炭▲十六圓九十五錢中鶴塊炭▲十三圓七十五錢十錢明治塊炭▲十三圓八十錢鳳山塊炭十三圓八十錢

八〇〇▲浦項四、〇〇〇▲鳳林二五、〇〇〇▲朱南四〇〇▲鳳城二三、〇〇〇▲吉州一、六〇〇▲會寧二七、〇〇〇▲陸岸一九〇〇▲竹浦三、〇〇〇▲永興〇〇▲花田一〇〇▲寶城四五〇▲西領錦二五〇▲旺三二、五〇〇

朝鐵中旬成績

朝鮮鐵道會社九月中旬の營業成績左の如し▲營業哩數三百二十七哩六、前年同期に比し三十九哩八增▲乘車人員八萬八千七百十七人增▲手小荷物五百四十七斤減▲貨物噸數一萬二千九百七十七噸▲千二百三十六噸增▲客車收入三萬一千八百四十三圓二千百三十圓增▲貨車收入二萬八千二百五十四圓、五千二十三圓增▲雜收入千四百八十四圓、一千四百六十六圓、九千百二十二圓增▲一日一哩平均收入十八圓七十六錢七十七錢增

全北鐵道改稱

全北鐵道は全州裡里、全州間十五哩五分は、十月一日から鐵道局の經營となり線名を全北線と改稱される事になつたが、從ての設備も列車運行時刻も從前の通りに營業することになるので、一般に對しては、但し十一月一日よりは、局線全般に亙る時刻改正と共に、線も時刻改正が行はれる事になつてゐる。

［illegible］外材の輸入に際し從價の約［illegible］を加へ外材の輸入に際し從價の約二割の内外を賦課せんとするもので、ある從つて新稅率の制定を見ると乃ち規定稅率の項目が改正せられて居る結果現行定稅率を基礎として設けられた朝鮮に於ける外材の輸入に關する特惠即ち大正九年稅率の稅率は五十三號も自然に消滅し從來朝鮮に輸入せられる滿洲林も無稅より一躍して輸入稅を賦課せらる〻事となる從つて朝鮮側は直接滿洲側の怨みを買ふことなく農林省の定稅率改正により滿洲林の特惠撤止となる譯である。滿洲側はこれを聞いて目下頗に焦慮しているが當局の定稅率改正の引上げが實現しても滿洲林の内地輸入は既に困難となつたので滿洲側の朝鮮輸入に際して稅の特惠を中央政府に要望し從來通り滿洲林の朝鮮輸入に浴せんとより〳〵運動を進めてゐる

新舗取引高

	最高	最低	買値	取引
河東郡（二五日）	三〇、〇	二〇、〇	二〇、〇	一二〇石
海州郡（二三日）	二〇、〇	二〇、〇	二〇、〇	六〇石
價城郡（二五日）	三七、〇	三〇、〇	三〇、〇	二〇石
錦山郡（二三日）	三〇、〇	三〇、〇	三〇、〇	一八五貫
同（二四日）	三〇、〇	三〇、〇	三〇、〇	一七〇貫
同（二五日）	三〇、〇	二〇、〇	二〇、〇	一六〇貫
河東郡（二六日）	三〇、〇	三〇、〇	三〇、〇	一五〇貫

●鮮滿案内所●朝鮮鐵道旅行案内所開所以來内各線の開、都市、奥地は勿論南滿洲一帶迄も十分な聯絡をとり、商店の紹介、各地の連絡と相互利用に資するため朝鮮滿洲旅行案内組の設立計畫が進められてみたが、今回愈々京城府内瑞麟洞に本部を置き事務を開始した

商況

大阪市中外棉唱

			前日比較
ストリクト	十月	三七、〇〇	三三高
ミドリング	同	三六、〇〇	三三高
ブローチ	同	三三、三〇	三〇高
ベンゴール	同	三三、四〇	一〇高

綿糸布高唱へ

米棉二圓十錢高三品二十方割りなど強材料を入れて綿布は強調、京城は二十六日各品一齊に一圓方高唱へ三エ一二百二十四、五圓となつた

京城郡合四三エ一二二四▲大ユ二一八▲人丟二一八▲金剛山二〇七▲長寿二〇五▲德管一九五▲寒松一九〇双〇一六七花鮭一三三▲屏面三三尺▲双女二一九▲番犬二一、二二

麥粉早騰

麥粉は引續きシカゴ小麥定料高騰、内地と産額の強騰を入れて京城は從來三圓二十五錢、と十錢高をメイヤ、二鶴そ［illegible］れ〳〵各品十錢方高騰を示した

株式

つよきよわき

株式　期米はカッチリと保合つたまゝ動からともしない。しかし休憩するにしては

△少々氣がもめるので少しづゝ買ひ下つて居るからといふのが今日この頃の强氣の觀測

△かなりもみ上げたあげ句だからこの邊で少々しはのばしをしてよい所だが、

△どうも騰いで〳〵で騷つめてゐるのさ強氣味の觀測もあり騰も挑む

わざである

期米　米穀大會に斯界の諸星が全部集まつてゐるので市況も鬼の居ぬ間なんとかで

△すつかり落つき澱つた大保合、立放に水といふ音響があるが、それとは反對に

△蔬菜に餅のくつついたやうに掘ばさみにへばりついた相場、豫想の出るまでは

△大會のお祭り氣分でさんざめくのも一興であらう、米穀大會一派の徒ひが惡い大會だからだから、お膝々以て如何となす。

地合ひは氣丈

前場　依然保合圏内の往來で大ハナ京取新舊四十錢安、大新六七十錢安に始まつたがこの後一部買遣を弗々買ひもあつて引際主力株は寄値を一圓乃至一圓五十錢方も上廻つて底強く前場を終つた

最終値比較▲京取拜錢安▲鐘新［illegible］

東新遂に下鞘

成地の相場に比べて久しく大上鞘を買ふの餘儀なきに至つてゐた當時東新株は昨今の落付市況につれて新東新へと鞘を縮められるといふ有様になり今朝も大引値において東新は株の不足数八百枚を激減して三百八十枚となり算定安券々日歩は六十一錢と十六錢を演ずるに至つた、尚久しく渡株が出廻らなかつた仁新は昨日バイカイのあとを承けて本日無日歩を告げるに至つた

代引尻に動兆

前場取組の通り今朝は買方主力と目される新出筋が再び買直し的態度に出たと認められる筋があつたが同手筋は今回は京取にも買進を試みてゐることであり、それがあらぬか京取以下主力株には代引がしく增すに至つた、即ち京取株は代引二百六十枚減の寸枚となり大新は株不足三百六十枚增の五百枚となり東新は更にその不足数を增して三百八十枚となり算定安券々日歩は六十一錢と十六錢を演ずるに至つた

取組の增減

一と頃は買方の利喰手仕舞につれ取組を減ぜした短期諸株も再三日の保合裡に知らず識らず買建が增加し今朝は新田筋の買進みも加はつて大新は又二千枚に垂んとし反つて東さは二千枚を割り京取亦二百枚程を減ずる傾向々の成行を示してゐる、要合も京取は上長となり東新の上長傾向も亦著るしくなる等敢て注意すべき特徴はなく保合相場の感を深からせしめるものがある

後場

大新同の東新五十錢高に寄附きデト閉會

最終値比較▲京取十錢安▲鐘新四十錢高▲大新廾錢高▲東新廾錢高

同事▲大新廾錢高▲東新七十錢高

目立てる手口

新田は弗々買

今朝は新田筋が諸株に亘つて弗々買を試み珍らしくも京取株にまで手を振つてゐた目立つた手口として鐘新に京證、白二買り大新に因友、洪敬の新田、成清、東新が出來る。

主要本玉調

京取株　建玉一四七〇枚　賣建二三四〇枚代引一〇枚▲賣方金秀三四〇大林二七〇洪二〇〇松山外四店四▲買方正崎四〇金龍

［illegible］

大新株　建玉二七一〇枚　賣建一五九〇枚株不足五〇〇枚▲賣方金秀外二四〇白井外三店九〇▲買方正崎二七〇洪外六〇二〇白二六〇大林

東新株　建玉一七六〇枚　賣建一〇枚代引二八枚▲賣方新田四六〇田外一四〇成清外五店三九〇▲買方正崎西五〇田

鐘新株　建玉三七〇枚代引一四〇枚▲賣方金秀一五〇新田外一店八〇▲買方松山一三〇成清外五

仁新株　建玉八〇枚▲賣方田友八〇▲大林外二店一一〇友一二〇

安取株　建玉二九〇枚代引一八〇▲買方白井新田各三〇古川二〇

期米

焦付

前場　先限二十五圓九十錢と寄附きより同事に始まりアト月も見送られ九十錢見直しと仕手不在のまゝ末納會平鞘まで焦付き止前六圓に終つた

後場　先限五圓九十九錢と寄附き九十錢に釘付のまゝ前場と同じ

分岐の鍵は鮮米

米穀大會に列席の阪地某氏は曰く内地に比較すると朝鮮の方が寡か

正米

保合

京城　丸キ三等二十六圓五〇四等二十六圓五〇▲丸八〇九等二八圓掲玄米上三八圓七〇一一六圓五〇▲米種八錢六圓大豆新物田新一等白一四圓五〇穀良八錢七厘在來へられ八八十錢安一七圓五〇投滿一六圓四金汗一五▲八〇重豆出二五圓五〇▲詞陵一六圓で市況保合

仁川　丸キ角チ丸チ三等二十六圓四等三七圓五〇無檢查米二六圓八〇一等白二五圓五〇殺神力穀八圓一〇八〇投滿一六圓二〇白川一五圓七〇小麥一四圓七〇物米（白）二二圓二〇同玄一二圓三〇錢見當で取引は閑散

仁川各店俵合（單位百石）

當限賣方	丸ウ二	▲ス九七	
同　買方	金太九		
中限賣方	ヤイ一九	▲金太一〇	▲
同　買方	丸マ九		
先限賣方	丸ウ四五	▲ス九二	
同　買方	丸王一〇八	▲ス丸六〇	
同	丸マ三七	▲丸イ五	
同　買方	金太一五四	▲丸ウ四七	
	▲丸大六	▲丸謡三	

下温かい此の頃期では一般が暖米の大豐作を觀てゐるのは當然であろ内地の或作日和は潰れたと云ふ程でもないが低氣壓が絶えず襲來して降雨勝の箇所が多くそれがために早冷えを招いて到る所に逆作説が唱へられて居る有様である從つて近く發表される第一回豫想は多くて六千萬石内外だらうと五千九百萬石内外に減ずるかも知れないと思はれる現に角一時豐年滿作で高踏つて來た東北及北陸方面の溶筋中には轉買連しなす向も多い點から推して三國以上の大作が見られるといふ事が數へる。下阪地の定期は東北から北陸方面の買に朝鮮筋資と云ふ對峙にしつて居るので内地米を主に取扱ふ者は何れも頭が強く朝鮮米本位の者には新米の出來秋になれば一段の安値があるものと見て居る向が多い。要するに今後の問題は鮮米の成力に依つて内地米を何所まで追し得るかが見物だと思ふ云々

京城穀物組合建値

▲外米　ミートン二六、一〇圓外米一〇、〇〇百圓一一、六〇四平角一一、四〇北鮮特一〇、九〇▲小豆開山物一四、六〇▲大豆南鮮物上六、八〇北鮮物上六、七〇▲綠豆一七、一〇▲胡麻三四、五〇▲荏子（朝）一四、八〇▲粟麥（新）一五、五〇▲高粱八、七〇▲小麥（京義線三四、六）一六、一〇▲燕麥（朝）三六〇

株式（廿七日）

京取短期

銘柄		寄付	大引	高値	安値
京取	後前	三四〇	三六〇	［illegible］	［illegible］
鐘新	後前	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
大新	後前	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
久原	後前	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
東新	後前	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
仁取	後前	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
同新	後前	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
安取	後前	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
朝紡	後前	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
三綿	後前	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
朝綿	後前	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
釜新	後前	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］

算定と日歩

	算定	日歩	代引
京取	［illegible］	［illegible］	［illegible］
大新	［illegible］	［illegible］	［illegible］
東新	［illegible］	［illegible］	［illegible］
仁新	［illegible］	［illegible］	［illegible］
安取	［illegible］	［illegible］	［illegible］
同新	［illegible］	［illegible］	［illegible］
久原	［illegible］	［illegible］	［illegible］
鐘新	［illegible］	［illegible］	［illegible］

大株短期

銘柄	前寄	前引	後寄	大引
大株	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
同新	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
久原	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
同紡	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
同新	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
鐘紡	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
日魯	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］

大株長期

	賣方	買方
京取	八	七
大新	八	六
鐘新	三	七
東新	九	四
仁取	一	三
安取	二	四

出來高

當限　二三三〇枚　累計一五〇、薪外二
先限　……枚　累計五五四〇
當日　……枚　累計三七〇〇枚

東株長期

銘柄		寄付	大引	高値	安値
東新	前後	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
久原	前後	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
鐘紡	前後	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
大新	前後	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］

安東株式

［illegible］

期米（廿七日）

仁川

	前場			後場		
	寄付	中限	先限	寄付	中限	先限
（一）	二六・八〇	［illegible］	二六・九〇	［illegible］	［illegible］	［illegible］
（二）	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
（三）	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
（四）	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
（五）	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
（六）	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］
（七）	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］	［illegible］

賣買出來高　當限三五二〇、中限三五三〇、先限［illegible］

東京

［illegible］

大阪

［illegible］

群山

［illegible］

兵庫・下關・名古屋

［illegible］

大阪綿花・大阪綿糸

［illegible］

各地の天氣

［二十七日午前］

東京	曇天	釜山	晴天
大阪	雨天	大邱	晴天
神戸	雨天	群山	晴天
下關	雨天	仁川	晴天
福岡	雨天	京城	晴天

天氣豫報

低氣壓は琉球と小笠原島との中間によつて北東に進んでゐる高氣壓は北部道方面から日本海を經て北方に備つてゐる爲めに東岸及び南岸は曇り其の他は天氣はよい明日は天氣がよいが後曇る豫報　晴後曇

京城手形交換高（廿七日）

枚數　六、四六三枚
金額　三、七三三、四六六九九

東京現株

株	二六・五〇	新　鐘	［illegible］
新	三三・五〇	同　新	［illegible］
銀	一二・一〇	東　新	［illegible］
新	四〇・四〇	同　新	［illegible］
銀	一二・五〇	日　石	［illegible］
取	三五・八〇	鐘　毛	［illegible］

鮮魚

京城▲タイ五六▲小ダイ六〇▲小エビ三五▲カジキ七五▲ツンシビ三〇▲サバ一五▲サワラ四五▲アヂ一五▲コノシロ一三▲アナゴ一二▲タコ一五▲イカ二五▲スズキ一七▲ハモ二四▲柱ガイ一五▲アワビ三五▲ニベ一四▲チヌ二八▲サヨリ二八▲仁川タイ八〇

市中米相場

丸キ四等玄米	二八圓〇〇
米二等白米（同石）	二四圓五〇
仁川一等白米	三二圓五〇

仁川穀物出入（廿七）

		移出	移入
玄	米（叺）	｜	｜
大	豆（叺）	｜	｜
白	米（叺）	｜	
同二斗入（袋）		｜	
玄	米（叺）	｜	
大	豆（叺）	｜	

仁川　福　期米

腦新劑

チエヤー

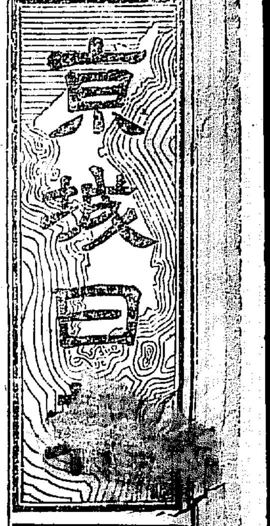
頭痛卽効
頭腦明晰
精力絶倫

心地すかり
十年も若返えりし
靈藥頓服只一回
年來渇仰の此の

之れだ！
之れだ！

本舗
合資會社　松内楠陽堂
大阪

全國有名藥舗にあり



（本紙は夕刊と合せて二十頁）
編輯兼發行人 小川三之介
京城府太平通一丁目 發行所 合資會社京城日報社

改造 十月號 十五錢

東京市麹町區内幸町（幸ビル）振替東京八四〇二番 十月號 改造社

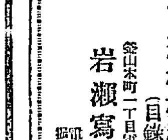
■漱石の思ひ出……夏目鏡子
■人口問題の反批判……高田保馬
■土地國有の問題歴史的意義……三浦周行
■享受と批評……谷川徹三
■ロシアに於ける社會主義經濟の發達……山川菊榮
■現ロシアの巨柱スターリン……佐野學
■泥沼に陷沒したプチ帝國主義者……猪俣津南雄
■樺太の旅……穗積重遠
■財界の現狀……頭金部……杉山幹
■行動の諸問題に……水平……深川武
■革命と勞働……山本懸藏
■總選擧戰に遊説して……麻生久
■全力を打破……安部磯雄
■「勞働農民」旗の下に……大山郁夫

創作
■暗夜行路……志賀直哉
■青空に描く……小川未明
■遺稿 或阿呆の一生……芥川龍之介
■善魔……里見弴
■午後の客……正宗白鳥
■死の前二日……田山花袋

■饒舌錄……谷崎潤一郎
■美術新秋……佐藤春夫
■遠島と渡海……柿崎正治
■歌と俳句……古泉千樫・佐佐木信綱
■日本演劇の將來……ガウズネル
■偏奇館去來……邦枝完二
■田中内閣の言論彈壓……卷頭言
■デルフィン……堀口大學譯
■キンネケ彗星の話……山本一清
■凡愚列傳……長谷川如是閑
■時評 政友會内閣と「肥料の分配」政權の「地方還元」北伐の再開始、歴史の改訂……山川均
■出版物の差押について……福田德三

西郷隆盛……三宅雪嶺
武田信玄……幸田露伴

寫眞機械材料（目錄進呈）
釜山本町一丁目（電車通）
岩瀬寫眞機店
電話七五五番 振替京城七七八八番



模範的四大叢書

漢文大系

諸名家分擔校註
□四書　□韓非子
□古文眞寶・唐詩選・三体詩　□老子・莊子
□唐宋八家文 二册　□春秋左史會箋 二册
□十八史略・小學・孝經・弟子職　□詩經・書經
□史記列傳 二册　第二期 十二册完成
各册五百頁内外　定價各二円 送料廿六錢

名著文庫

國文學諸名家校註
鳩翁道話全集　源氏物語忍草（七冊）　寶物集
名曲選　謡曲五十番　徒然草
義士篇　狂言五十番　和漢朗詠集
國姓爺合戰　古今和歌集遠鏡　義士篇
芭蕉翁繪詞傳　お伽草子　秋成傑作集
俳の本　新古今和歌集新鈔　選集鈔
各册二五〇頁内外　定價各一円 送料六錢

模範家庭文庫

諸名家分擔執筆
大アラビヤンナイト　西遊記　弓張月物語
グリム御伽噺　ガリバア旅行記　印度童話集
イソップ物語　日本童話寶玉集（上下）　朝鮮童話集
アンデルセン御伽噺　世界童謡集　トルストイ童話集
ロビンソン漂流記　續グリム御伽噺　科學物語
世界童話寶玉集　支那童話集　（以下續刊）
各册五百頁内外　定價各三円八十錢 送料二十七錢

繪とお話の本

楠山正雄編
サルトカニ（一年用）　おやゆび姫（四年用）
イソップものがたり（二年用）　源氏と平家（五年用）
大男と一寸法師（三年用）　青い鳥（六年用）
四六倍判 百頁内外　定價各一円六十錢 送料八錢

取次全國有名書店
東京神田區錦保町　振替東京五〇一番　冨山房

褌（ふんどし）

三田村鳶魚先生序文　山口岡先生序文　福富織部著
四六版使裝 總入四百餘頁 寫眞挿入 其他古今名畫四十八枚 定價二圓五十錢 送料八錢

屁（忽四版）

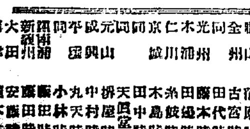
屁の姉妹篇出づ!! 褌の研究は民族の研究だ、それはかりでは風味がない・面白くない。處が、冷く古今の文獻を集録し巧みに按排したのが本書だ！

定價一円八十錢 送料十錢
發行所 東京神田 玄泉堂　一手販賣
東京市神田區表神保町二　有精堂書店　振替東京二四五〇五番

世界第一、良品廉價
ハフイス高級時計

特徴　指示正確　機械堅牢
振動不感　日章印極厚側

세계제일의 량품을 염가로 제공합니다
특장은 엇더한 진동에도 틀님이 업고



朝鮮特約店

釜山 大邱 京城 光州 木浦 仁川 平壤 鎭南浦 新義州 元山 咸興 清津

(各地特約時計店名)

明治参拾貳年創立
倉庫業兼營
株式會社 朝鮮商業銀行

京城府南大門通貳丁目百拾壹番地
頭取 和田一郎　副頭取 趙鎭泰
支店 京城鍾路、同南大門外、同本町二丁目、同東大門、仁川、平壤、開城、沙里院、鎭南浦、大邱、元山、新義州、群山

時計 貴金屬 寫眞機 金銀錫器 材料一切 幻燈器

株式會社 大澤商會京城支店
京城本町壹丁目
電話本局長二六三番 長三三九番 長四八〇番
振替京城二三一番

發行所 大日本工業學會
東京市小石川區丸山町一番地　振替東京六一八〇番

書名	著者	定價	送料
鐵筋コンクリート 構造 家屋	土居松市著	三圓八十錢	十八錢
新式規矩術	大竹只八、中村興資著	一圓三十錢	十四錢
改良日本家屋構造	吉田全三著	二圓五十錢	十二錢
實用西洋家屋構造	石川勝志著	前三・五〇 後一・五〇	各十四錢
實用日本家屋構造	石川勝志著	一圓五十錢	十錢
和洋建築設計製圖	木檜恕一著	二圓五十錢	十二錢
建築工事仕様見積	吉田全三著	二圓五十錢	十二錢
洋風木造建築構造圖解	志賀鑑之助著	一圓二十錢	十二錢
構造強弱並計算法	大竹只八著	三圓	十六錢
室内裝飾家具製作圖	木檜恕一著	上下 各三圓	各十八錢
煖房と換氣	柳町政之助著	前四圓 後五圓	各十八錢
酸素アセチレン 鎔接及截斷法	桐渕勘藏著	三圓五十錢	十八錢
歯車の計算法	米村鐵一著	一圓五十錢	八錢
關口實用機械學	關口八重吉著	二圓	十錢
化學機械 理論と實際	吉川玉吉著	四圓五十錢	十八錢
化學機械の計算法	吉川玉吉著	二圓五十錢	十二錢
金屬材料	河合匡著	九圓五十錢	二十四錢

財團法人 電機學校

校内生 夜間豫科二期 本科一期 高等科一期
通信教授 校外生部 豫科本科 入學隨時
新學期開始十月十一日
校舍大擴張 定員一千名
東京神田錦町
規則申込次第送附

商業登記公告
理里出張所

商業登記公告
全州地方法院

商業登記公告
安州支廳

商業登記公告
群山支廳

商業登記公告
安城出張所

商業登記公告
全州地方法院南原支廳

李王殿下(上)と金谷軍司令官(下)

切りつめた日程で 御繁忙な兩殿下

李王殿下の御近狀について 金谷軍司令官謹話

李王同妃兩殿下には御渡歐以來[illegible]る節[illegible]にわたらせられ各國を[illegible]の傍らには[illegible]官の[illegible]遊ばされ頗る御多忙の御模樣[illegible]

御模樣 に承はつてゐるが最近殿下には金谷軍司令官に對し御消息を[illegible]遊ばされたその御模樣につき同司令官は語る

御一行はパリ御到着以來[illegible]御元氣にわたらせられパリでは休戰軍の元勳たるフォッシュ元帥[illegible]グーロー將軍[illegible]を御訪問親しく大戰中における[illegible]を御聞こし召されその他[illegible]等を御見學の上パリ駐在[illegible]陸軍少佐の御案內でシャムパーギン、サンカン、ランス、ベルダン、ヌッツ、ストラスブルグ等の

大戰の 戰跡を御巡覽遊ばされ多大の御收穫があらせられた御模樣である今度の御旅行は可なり御日程が切りつめられてあるので仲々の御多忙で一日平均約五十里の長距離を自動車で御遊びになつた御樣子である次いでスイスに御旅行遊ばされジュネーヴでは聯盟總會、石井大使等と御會見の上再びパリに御歸着その日は[illegible]の日であつた事とて特に御休養遊ばされたとの事である八月初めにはイギリスに御渡航、イギリスは何となく人情風俗に落着きがあるとの

御觀察 であつた

金谷軍司令官は殿下が[illegible]も激しき七、八月の候に殆ど御休養もされず絶へず御旅行を御續け遊ばされ數多の御見聞を御ひろめさせられた事につき感激してゐた

政民の差五十一

廿七日午後六時現在

【東京電話】廿七日午後六時現在各府縣會議員選擧當選者總數は八百九十四名で各派別は左の如くである

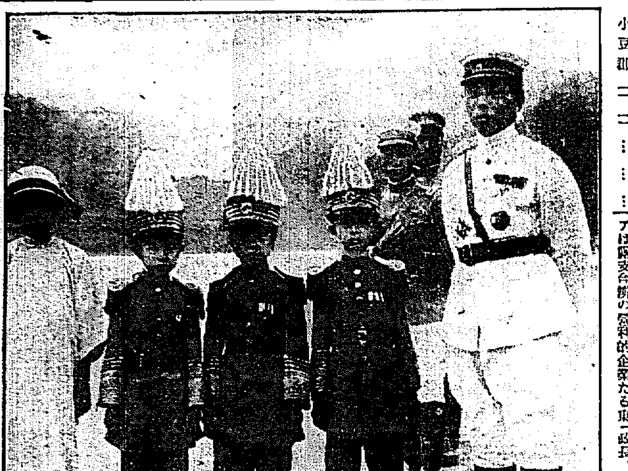
▲政友會四三四名 ▲民政黨三八三 ▲無所屬二二 ▲其他五六

無產黨振はず 政民相伯仲

激戰狀態を演ずる府縣會議員選擧戰

【東京電話】昨夕電報所報以後の府縣會議員當選者數は左の如し

	定員	政友	民政	無產	其他
(奈良縣)					
生駒郡	四	…	三	…	一
北葛城郡	四	二	…	…	二
(新潟縣)					
三島郡	二	一	一	…	…
西頸城郡	二	一	一	…	…
中頸城郡	五	三	二	…	…
中蒲原郡	五	三	二	…	…
南魚沼郡	二	一	一	…	…
中魚沼郡	二	一	一	…	…
(兵庫縣)					
印南郡	一	一	…	…	…
(愛知縣)					
北設樂郡	一	一	…	…	…
八名郡	一	…	一	…	…
(秋田縣)					
河邊郡	一	…	一	…	…
(茨城縣)					
北相馬郡	二	二	…	…	…
(宮城縣)					
玉造郡	一	一	…	…	…
(愛知縣)					
栗原郡	一	一	…	…	…
(群馬縣)					
邑樂郡	三	二	一	…	…
(廣島縣)					
世羅郡	一	一	…	…	…
(富山縣)					
東礪波郡	三	二	一	…	…
西礪波郡	四	二	二	…	…
(愛媛縣)					
北宇和郡	四	三	一	…	…
東宇和郡	二	一	一	…	…
(山形縣)					
南置賜郡	一	一	…	…	…
(鹿兒島縣)					
日置郡	三	…	三	…	…
姶良郡	四	…	三	一	…
揖宿郡	二	…	二	…	…
川邊郡	三	…	三	…	…
(京都府)					
天田郡	二	一	…	一	…
(青森縣)					
下北郡	二	一	一	…	…
上北郡	二	二	…	…	…
(岡山縣)					
上房郡	一	一	…	…	…
赤磐郡	一	一	…	…	…
和氣郡	一	一	…	…	…
(香川縣)					
小豆郡	二	二	…	…	…



いかめしい張三世 兩側は張學良氏夫妻

齋藤總督 首相訪問

會議の經過を詳細報告

【東京電話】二十七日朝著京した齋藤總督は午後一時半永田町官邸[illegible]

	定員	政友	民政	無產	其他
(茨城縣)					
那珂郡	三	二	一	…	…
北相馬郡	二	二	…	…	…
行方郡	二	一	一	…	…
新治郡	四	二	二	…	…
結城郡	三	二	…	…	一
眞壁郡	四	三	一	…	…
(宮城縣)					
牡鹿郡	二	一	一	…	…
本吉郡	三	二	一	…	…
石川郡	一	…	一	…	…
[illegible]郡	一	…	一	…	…
東白河郡	二	一	一	…	…
大沼郡	一	…	一	…	…
(大分縣)					
玖珠郡	一	一	…	…	…
直入郡	二	二	…	…	…
宇佐郡	三	二	一	…	…
(岐阜縣)					
益田郡	一	一	…	…	…
加茂郡	三	二	一	…	…
([illegible]縣)					
中[illegible]郡	一	一	…	…	…
[illegible]石郡	一	一	…	…	…

赤露もさらに 對滿蒙積極政策

日滿交涉の中絕を機會に 魔手しきりに動く

【ハルビン廿七日發】日本の滿蒙積極政策の[illegible]滿鐵との[illegible]協調の[illegible]、奉天派の[illegible]態度により漸次北滿より勢力[illegible]されんとする東鐵ロシア側[illegible]部はモスコー政府の[illegible]打開策を[illegible]政策に基づき

上海 に一大貿易機關を設立せんとしつゝある外目下ベルリンにある[illegible]キーはロンドン、ハンブルグおよび當地に東鐵[illegible]の設立を計畫中だがロシアはこれにより上海[illegible]間に直通航路を開き[illegible]從來[illegible]の內外人[illegible]を[illegible]はれて來たヨーロッパ市場[illegible]物[illegible]間の[illegible]を一手に引受け又[illegible]貨物のウラジオ集中主義を執り飽まで滿鐵に對抗せんとするものであるがこれがため滿鐵のかうむる[illegible]

影響 は[illegible]まつて日本向けの[illegible]以外ヨーロッパ市場[illegible]相手[illegible]三[illegible]の大[illegible]鐵頭に[illegible]は致命的打擊を受け、さなきだに[illegible]にある邦人の北滿[illegible]に多大の支障を來たすであらう、なほロシアは[illegible]間一[illegible]より三[illegible]を經て[illegible]河に至る六百三十マイル、ウエルフネウジンスクよりキヤフタ[illegible]ロンに至る五百キロの[illegible]を敷設せんとしてゐるなど鳴り物入りの日本[illegible]の交涉が[illegible]におけるの[illegible]に[illegible]し

中絕 の形にある內にロシアは[illegible]的企劃たる[illegible]

蒙古兵權は 露國に

支那側に達した情報

【ハルビン廿七日發】支那側に達した情報によると外蒙兵力は騎兵一萬六千▲砲兵二十七ケ中隊▲野砲百八門を有す▲步兵一萬▲飛行隊二ケ中隊(現在航空機四臺)等で兵器[illegible]は總てロシア人の武器[illegible]で他一切の[illegible]品はロシヤより供給されてゐる[illegible]によりロシヤは步兵[illegible]二ケ旅團を除[illegible]してゐる、なほ[illegible]の兵權は完全にロシヤの掌中にある

不法警官の 嚴罰で解決

證人二名を召喚 梅崎參謀立會て

【上海廿六日發聯合】日本[illegible]に對する不法[illegible]の[illegible]は[illegible]より[illegible]梅崎參謀立會の下に廿六日午後四時から同八時まで行はれ廿七日更に再び當時[illegible]を目擊してゐた外人、日本人二[illegible]を證人として喚問しその結果を合せて[illegible]嚴罰を行ひ[illegible]に解決される事となつた

劉新任省長は 莫氏以上に老獪

奉天派では有數な財政通で知らる

【奉天廿七日發聯合】[illegible]は[illegible]たもので[illegible]まで[illegible]してゐたが[illegible]、彼は[illegible]の[illegible]問題に[illegible]したので[illegible]に[illegible]、[illegible]長を北京[illegible]長に[illegible]後[illegible]長に任命して[illegible]を一新する[illegible]なつた劉氏は廿七日[illegible]したので正式發表は二、三日後の事であらう、劉氏は[illegible]政長、[illegible]等を經て[illegible]るゝ人物である、[illegible]はかつて彼がハルビン[illegible]ので[illegible]としては[illegible]である

城壁を挾み 激戰三日

雲南の唐軍敗退す

【北京廿八日發】[illegible]によれば唐繼堯の死後[illegible]を中心とする[illegible]は廿一日[illegible]城を攻撃し城壁を挾んで激戰三日唐軍は死者二百余を遺棄して退却した、市民側にも死者十四名を出したが[illegible]には何等[illegible]なかつた、[illegible]に出づる[illegible]で人心は不安に驅られてゐる

八丈島着陸場 あす開場式擧行

安保司令官を迎へ

三都の防空上重大なもの

【橫須賀電話】[illegible]の[illegible]りとするため[illegible]が今春來工事中であつた八丈島飛行場は[illegible]よく完成廿九日橫須賀より安保司令長官を迎へて開場式を擧行することになつた同飛行場の

地位 は八丈島の[illegible]を占め東京から約百四十マイル、現在の規模は不時着陸場に過ぎぬ程度のものであるが將來は東京灣口の[illegible]として最も有力なものとする計畫である、[illegible]百哩の[illegible]を持つ飛行機を五十[illegible]以上の能力を發揮する事が出來すくなく共東京、橫濱、名古屋三都市を完全に防禦することが出來る理想的の位置として見られてゐる當日は[illegible]司令官をはじめ[illegible]

便乘 し開場式に臨み[illegible]機と[illegible]飛行艇一[illegible]も參加する

山縣公の 告別式

きのふ青山齋場で執行

【東京電話】故山縣伊三郎公の告別式は二十七日午後二時より執行、しい秋雨の降る青山齋場にて執行された[illegible]はじめ各方面よりの花[illegible]で[illegible]られ[illegible]の[illegible]子[illegible]吉氏夫妻[illegible]、[illegible]、[illegible]に[illegible]し[illegible]の[illegible]式を終つた

全國典獄會 議を開催

【東京電話】全國典獄會議は十月十一日から五日間司法省に開催されることゝなつたが特に[illegible]、[illegible]判所、[illegible]等も加はり多年の[illegible]行政[illegible]に[illegible]する[illegible]の諸問題につき協議するはずである

[illegible]が參列せる者は首相以下各大臣[illegible]、[illegible]、[illegible]等で[illegible]に送られ故有朋公の墓側に葬られた

電鐵の延長を 長安寺までやる

遊覽地の視察も考慮 久米民之助氏語る

[illegible]社の 事業を視察するのが[illegible]である、[illegible]は[illegible]ある[illegible]、[illegible]十七日[illegible]された[illegible]は語る

契約 により京城電氣で四千五百キロの增設をする事になつてゐるがこれが完成すれば[illegible]電力[illegible]となる譯である。なほ將來の[illegible]增加に備へるため現在[illegible]

[illegible]は久米氏は二十八日朝鐵道[illegible]に向ふはず

李王職豫算に 新計畫はない

韓長官釜山で語る 齋藤總督とも合つた

【釜山特電】かねて[illegible]の[illegible]のため[illegible]であつた李王職長官[illegible]は廿七日[illegible]釜山[illegible]した[illegible]、[illegible]長官は語る

[illegible]

大規模な 攻防演習

非常に愉快だつた 安田旅團長談

今回の攻防演習は規模の大と[illegible]の[illegible]で[illegible]に[illegible]かつた、[illegible]、兵卒の[illegible]部から最後の[illegible]に移つた[illegible]と[illegible]もので[illegible]の[illegible]は決して[illegible]に劣らぬ自信を得た

米國輸禁撤 廢案上程

【ジュネーヴ廿六日發聯合】國際[illegible]は前にアメリカに[illegible]し一切の輸出入禁止[illegible]に[illegible]する國際規約を作成する目的で來る十月十七日よりジュネーヴに開かれる國際會議に參加する[illegible]を[illegible]したが今回アメリカ政府は同會議に代表を派遣せしむべき旨正式に通告した

大戰參加は 領土保全

ポ氏獨逸大統領へ應酬

【パリ廿五日發】フランス[illegible]ポアンカレー氏は[illegible]、[illegible]にて[illegible]ドイツの

根本樹立 平和處理の

ノールウエー代表辯ず

【ジュネーヴ廿六日發】二十六日[illegible]でノールウエー代表ナンセン氏は[illegible]がイギリスの反對あるに拘らずジュネーヴ[illegible]を[illegible]すべしとの強硬なる[illegible]を示すと述べた

ヒンデンブルグ[illegible]が大戰[illegible]に[illegible]するフランスの主張を反駁して[illegible]の責任を[illegible]るに言及し左の如く[illegible]した

フランス人ならば何人と[illegible]戰爭を誘致する如き[illegible]をなすの勇氣はなかつたであらうフランスが大戰に參加したのは唯領土保全と[illegible]を欲したために過ぎない

日支條約 一次會議

順序方法等を打合せ

【上海廿七日發】日支條約[illegible]會は午前十一時外交部に第一次會議を開き[illegible]官、[illegible]今後の[illegible]方法等につき打合せした

遞信官署官 制改正

【東京電話】廿七日の閣議は左の件を決定した

一、朝鮮總督府遞信官署官制中改正の件

法制審議會副總 裁更迭

【東京電話】[illegible]院長[illegible]氏は今回法制審議會副總裁を辭したるにつきその後任として[illegible]が任命された

創立原案を 可決す

煙草會社支部總會終る

二十六日に引續き[illegible]は[illegible]に會議を續行してゐる[illegible]創立原案に[illegible]する[illegible]は何等の[illegible]も見せず[illegible]を通過した[illegible]原案を[illegible]可決し午後三時[illegible]したなほ同時に[illegible]を設けるべく希望することゝなつた

聯合青年團滿鮮視察

大日本聯合青年團[illegible]一行五十三名は[illegible]ため來る十月三日下關の豫定であるが鮮內視察は四日より七日までの間に釜山、京城、仁川、平壤、新義州の順序で八日[illegible]安東[illegible]車にて[illegible]に向ふはずである

椒子島燈標

廿五日から點燈

[illegible]州島[illegible]子[illegible]の[illegible]標を建設中であつたが[illegible]したので廿五日から點燈した[illegible]は[illegible]から[illegible]までの高さ[illegible]

辭令

(東京電話)

總督府道理事官	富田	常治
黃海道在勤を命ず		
總督府道理事官	眞壁	敬介
京畿道在勤を命ず		
公立實業學校敎諭	柳	成文
補仁川南公立商業學校敎諭		
公立實業學校長兼		
同敎諭	北川勝次郞	
理敍高等官三等		
總督府技師	川崎榮太郞	
黃海道平安[illegible]管內へ出張を命ず		
(以上各通廿六日付)		
府[illegible]技師	伊藤重次郞	
出府を命ず		
任判事(高等官七等)	門田	一
判事	山口	吸一郞
任裁判所書記長(六等)		
中樞院書記官	山本	秋耿
朝鮮[illegible](出張を命ず)		
前理事官	富田	常治
依願免本官		
公立實業學校長兼敎諭	北川勝次郞	
依願免本官並兼官		

會

光永星郞氏歡迎 滿洲視察の途次廿八日入城する日本電報通信社長光永星郞氏のため新聞關係者は朝鮮ホテルに歡迎會を開く同日午後六時

人

李堈公殿下 國武官、[illegible]を伴ひ一週間の豫定で歐州東萊を御巡覽のため廿七日夜出發された

◇池田[illegible]氏(城大豫科敎授)廿七日夜洋行の途に上る

◇久米民之助氏(金剛電氣社長)廿七日夜入城朝鮮ホテル

◇韓昌洙男(李王職長官)廿七日夜歸城

◇光永星郞氏(東京電通社長)廿七日京城着

◇エッタット博士 廿七日午後六時金剛山より京城着朝鮮ホテル

◇小川[illegible]氏(京畿道[illegible]部長)廿八日朝七時金剛山より入城朝鮮ホテル

◇錦織[illegible]侯爵 廿日朝入城の[illegible]ホテル

◇伊平太郞氏(岡門鐵道重役)廿七日午後九時退城

◇伊[illegible]太氏(工學博士)廿七日午後七時入城[illegible]

茶話

[illegible]は朝鮮特產投票で大分にぎはひ▲投票が[illegible]いものが必ずしも特產でないといふものあり▲人のせんさく眺縮にやめげそうもならぬでなからうが▲つまり特產、投票に[illegible]ふて居るのである▲それ、投票が[illegible]いのは[illegible]いのである▲少しも不思議がないやうだがどうか▲アタマのよいのもよいがよすぎるのは時に大いに始末にこまる▲夕立の來る頃なら雨の降る日に天氣がよいのがあり▲片[illegible]が[illegible]山の[illegible]につて秋天一碧で[illegible]はなからうがたいが▲小[illegible]にだけはつて大騷ぎを見のがすのは人生[illegible]の上でソロバンが立つまい▲故なくして去れば[illegible]ひもするし[illegible]ありて來たれば[illegible]みはせぬ▲之が茶話子の大[illegible]で大[illegible]だ▲いはですむものなら野暮はいはぬを花とし▲[illegible]の快を特產投票に求めるのも一興▲[illegible]の興を全鮮[illegible]リレーに[illegible]るのも一快▲一興一快に[illegible]の世界を[illegible]すればわれ等の目的は足りる▲[illegible]の[illegible]と知れ。

經濟

全鮮穀物大會 午後一時より再會

運合問題は諸富の答辯で採る

【群山特派員發電】第十回全鮮穀物聯合大會は午後一時再開、この日より提出議案の審議に入り先づ第一號、穀物[illegible]取引[illegible]、玄米[illegible]提出[illegible]、木浦、群山、京城[illegible]についての說明[illegible]ありて可決、第二號[illegible]提出[illegible]から[illegible]一致可決[illegible]

[illegible]

運合反對猛烈

休憩後更に再開

[illegible]午後の休憩をすまし三時十分[illegible]

金剛山鐵道 二年下期豫算

金剛山鐵道の昭和二年下期事業計劃としては[illegible]を以つて昌道[illegible]至[illegible]十哩の鐵道工事に着手し約三分の工事を進める豫定で、又營業收支豫算は收入十三萬二千九百五十八圓で、營業費は十萬七百九十六圓、[illegible]金二萬四千百六十二圓で、前期に比し一萬四百八十圓の增加で平均資本に對し五[illegible]の利益である。而して政府補助金は一十九萬五千四百六十三圓を受ける豫定である、と[illegible]の[illegible]力發電に於ては[illegible]二[illegible]電所を新設する豫定で、その豫算は三十七萬圓で、發電收入は四十萬二千八十四圓[illegible]五百九十圓、[illegible]四百九十四圓の[illegible]で目下之が認可を當局に申請中であるが近く認可の運びとなるであらうと

濟州島郵便所新設

濟州島[illegible]は[illegible]の[illegible]する處れた港地で朝鮮[illegible]であるが城山浦へ五里の距離にあり不便を極めて居たので郵便所の設置は多年の懸案となつて居つたものであるが今回[illegible]に依る郵便所設置方申請中の處今々十月十一日から開所の運びとなつた由

大株短期引跡

▲株 式▲

新	八十六圓五	(二十錢安)
新	百三十一圓二	(十錢安)
新	五十七圓	(十錢安)
新	百五十三圓	(二十錢安)

大 久 東

期正米

鮮內延べ(廿七日)

[illegible]

大阪在庫米

內地米	二四八、九三八俵
朝鮮米	二七三、〇三五俵
其の他	三三一、九一五俵
合計	八五三、八八九俵

大阪市中在米

大阪市中在米廿七日現在高は八千五萬三千八百八十九俵であり之れを前日の在米高に比する時は二千四百九十俵の減少である

各地期米後止

先限▲下関三二五▲桑名夕出十一番三一〇十二番三一〇▲名古屋三一七〇▲金澤三〇一九▲熊本三〇九▲大阪[illegible]

京城日報

平凡な銀行合同を提唱

一

金融組合の今日の盛觀は總督府當局の手厚い援助による所頗る大なりといふべしであるが、更に一歩進いて觀察すれば、金融組合其ものがその足場を飽まで民衆の經濟生活の上に置いてゐる、といふ事の他に、過去に於て與る所多き經濟組織を持ち、從つて經濟的に惠まれるとの點に少かつた半島に於ける民衆の心に投じたのに負ふ所が多かつたのである。しかしてこの民衆の心に投じた金融組合は今日と雖も依然惠まれることの少い民衆の經濟生活に卽してゐる以上、今後益々盛大に發展して行くべき要素を十分に具有してゐる、といふべきである。殊に、世界を風靡しつゝある所の傾向、卽ち政治、經濟、敎育、宗敎、社會等その他何れの方面でも民衆本位を離れ込まずには措かぬといつたこの民衆化の傾向が、今後益々熾烈となつて行く限り、この潮流に棹さしてゐる、とも見られるこの金融組合が如何なる運命をたどるはずであるか、多言を要せぬであらう。

二

しかし、この金融組合が盛大になればなる程、現在の銀行業者にとつて一大脅威たるは免れない。殊に、金融資本に乏しい半島財界において金融機關が多い、といふことは却てお互ひの間の預金爭奪や貸出資口の爭奪を激成し勝ちである。これが爲、先般來の金融懇談會當時においても、金融組合の態度を如何にすべきかが最も八釜しい論爭の中心となつたかくて最近傳へられる所によれば、同時金融組合の預金貸出金額を制限するに意見の一致を見たらしい、との話である。卽ち金組の預金は非組合員のものは三千圓を限度とし、貸出は都市金組も三千圓を限度とし、シカモ組合員に限るとのことである。

三

金融組合の預金貸出制限、これには相當の合理性を認めるが、見方によつては銀行側の要求と解して敢て過言ではない。シカモ折角の要求によつて得た所のものは如何であらうか。果して、今後銀行が脅威を受けず、或は輕減して業務の遂行を不安なくやつて行けるやうになるであらうか。金組は恐らく從來の如くその基礎は根強い民衆の意志の上に置かれてゐる。民衆の要望によく合致してゐる所が多い以上、メトヘ右のやうな制限が設けられることになつたとしても、その制限は種々の合法的といふか合理的といふか兎に角少しの無理も、制限も、又監督もなくして公々然と有名無實とされてしまふ方法がないと誰がいへやう。恐らくいへぬはずである。斯くしてその結果折角の制限が反對になつて了つた時は、金融組合の脅威が更に銀行へ増加する時でなからうか

四

我が半島財界が、産業金融のみを以て獨立營業となし難いのに對し金融組織は依然として不備の點が多いので、普通銀行としては特殊銀行から業務の一部を侵され、更に強大なる金融の脅威から脫れない、としたらどこに活路を見出すべきであらうか。恐らく銀行業者の狙ひもこの點にあるであらうが、われ等はこれに對して『合同を促進せよ』との平凡な提唱を銀行業者に促進することが第一義的であると云ふことを沁々思ふ。合同の利益如何については、基礎の鞏固、信用の増大等すでに論じ盡されてゐる問題だけにモハヤ贅言の必要を見ない。實に合同は今の半島財界で惱める銀行業者にとつて天賦の職責でなければならぬ。しかしてこの合同に對する點では金融組織上に或は金融組織改善のためにもより良き結果を生む重要な機となりうることを信ずる。」

南方武人派の分裂

注目さるゝ何應欽の態度 蔣介石を推戴か

支那南方の時局につき外務省着電を綜合するに、南方政府は南京派、武漢派、西山派を加へて大同團結成り統一政府に施政方針の宣言を發表して大いに氣勢をあげてゐるが、右は思想的に文人派が合體せるのみにて、表面は圓滿に進捗しつゝあるが如く見えるが、武人派は反蔣に分裂的傾向をたどりつゝある。この間時局に最も重大な關係を有するものは李宗仁、白崇禧一派に對する何應欽の態度であり、一方故山に歸臥して居た蔣介石もひそかに上海に潛行したといふから、もし何應欽にして蔣氏を推戴するが如き擧に出ずるとすれば、容易ならぬ事態を醸すこととなるであらう。他方武漢に歸つた唐生智は元來、南方とは思想的傾向を異にし、獨立の國民政府を樹立する計畫であり、從つて彼の勢力は湖南湖北の地盤をかためて事實上獨立せるものと見られ、山西の閻錫山等と提携すれば、北京南京に對して三派鼎立の形勢を呈すべく、又唐氏と張發奎氏に就いて危惧されてゐた張發奎は目下江西カントン管理方面を通過しカントンに向ひつゝあり從つて彼は長江方面に見切をつけすでにカントンの李濟琛と妥協成立せるものと見られる、更に河南の馮玉祥は最近新疆國と蒙古の結果、前は必然的に天津に接するので、武器彈藥の不足せる折から、極めて不利の地位に陷るを以て、中央に向つて進出するが如き形は困難あり得ない。或は武漢を握收するが如き勢力を有せず、或ひはむしろに陝西方面に向つて後退しつゝあるのではないかと觀測されてゐる。

全國方面委員會議

第一回開催

中央社會事業協會では來たる十月二十一日から二十五日まで五日間にわたり、東京神宮外苑日本青年館において第一回の全國方面委員會議を開催する事になつたが、元來我國の方面委員制度は大正六年岡山縣に設けられた濟世顧問を以て嚆矢とし、次いで東京、大阪兵庫の各府縣に救濟機關として現れ、以來各地に普及して現在各府縣に約一萬人の分布を見、これが事實としては保護救濟、相談指導、金品給與、周旋紹介等を擔ひ最近一ヶ年の取扱ひ件數約廿二萬件に達するに至つてゐるが、しかしこれが實に充分なる機能を發揮するについてはなほ實際組織制度の上に多々研究を要すべき點が多い。從つて今回の協議會も方面委員會議としては我國最初のものであつて、その出席者は

一、方面委員及方面事務擔當者にして地方長官の推薦あるもの
一、委員制度事務に關係ある官公吏員にして地方長官の推薦あるもの
一、其他特に出席を希望するものにして地方長官の推薦あるもの
一、外に參加員として社會事業協會の適當と認むるもの

等にて全國約三百五十名位の豫定であつてその協議事項は左の如し

（一）方面委員制度整備に關する件
イ、委員制度の經營主體に關する件
ロ、方面地區に關する件
ハ、委員の人選に關する件
ニ、委員の任期に關する件
ホ、委員の擔當區域に關する件
へ、委員制度助成に關する件
ト、其他必要なる事項
（二）各地方面委員聯絡に關する件
イ、第七回全國社會事業大會の委託により東京市において研究上提出せる申合案
ロ、委員制度、樣式及び分類の一定
ハ、其他各府縣提出協議案

なほ協議會は二日間にして、後の三日間は講習會を開催することになつてゐる。」

蟲に好かれる花

赤色は案外すかれぬ 記憶のよいのは蜜蜂

ワシントンのカーネギー財團パイタス・ピーク研究所においてフレデリック・クレーメンおよびフランセス・ロング兩博士が何故に蟲類が、或種の花には集まり他の花には寄りつかないかをさぐる爲に、花の色、形、香、花粉、外見等の花の一切の要素について九年がゝりで研究調査した所により左の如く述べてゐる。人間のペラやスミレなどは人間が近寄つてかいでみる程巧妙に出來てゐても、蜂や蝶はだまされない、又木の枝に咲いたほんとうの花の間に多數の造花を置いても、蜂は決してこれに寄りつかないが、實物の花には必ず止まる。自然の花に濃く色をつけても自然のものと同じに寄りつく。赤い花の花瓣を半分ほど切つて置くと蜂や蝶の寄るのが半分から十分の一の間にへつて來る。蜂類の最もすく花の色は青で赤は一番すかない。青い花はひつくり返して置いても寄つて行く。クレーメンおよびロング兩博士は結論として、蟲類は色と香によつて引つけられ又形や花の組織に誘はれてくる。香氣は遠方からでも引寄せるが色は三十フィート內外でなければ効力がない。蜜蜂は最も記憶がよく、花の場所のみでなく色が香氣までも覺へてゐると。」

クリミヤ離宮の怪

怪談めいた因縁話に 主義者連慄へあがる

クリミアにある舊露國皇室の離宮はけふが日までそのまゝ立派に保存されて來たが、最近いはゆるレニンが生前要望した通りに世界各國の社會主義者の『樂天地』としてそのまゝ用ひられることゝなり、その落成式當日にはボルシエビキー一派の面々が出席して盛宴を極めた。この離宮は往時ロシア皇室の人々が特に親しんだ所で、それ等の人々の靈が殘つて居るとさへいはれてをつたが、社會主義者に開放されて以來世界各國の主義者連卽ちドイツ、英國、印度、ルーマニア、米國、ブルガリア、極東方面から亡命した主義者の集合所となり離れ家となつた。そして彼等はこの宏麗な宮殿內の大廣間を遊戲したり、けばけばしい家具を自由に使用して、こゝを主義者の天下であり實に寄しき因縁であつた。所がここに恐ろしい事が起つた、それは昨今俄に多數の主義者を收容して居る地點のため、さしも堅牢を誇つて居た建物の一部が倒壞し主義者等と共に陷沒して數多の主義者が慘死した。これを聞き傳へた白露派の面々は、あの宮殿は皇帝の最も愛された離宮であるから、この上どんな怪事が起るかも知れないと噂してゐるので、さすがの主義者もその恐ろしい怪談めいた因縁にはふるへあがつてゐる

ガソリンの代用品

瑞典で發明

スヱーデンでは自動車用燃料として從來外國から輸入してゐたガソリンの輸入防止の必要に迫られ、新燃料の研究の結果、いよいよ斷面の新燃料が發見され、好成績を現はすことになつたこの燃料はスヱデンにおける重要産業の一である木材パルプ製造の際廢液として生ずる亞硫酸灰汁を利用し、これから醸出したアルコールにガソリンを混合したもので、混合割合は大體半々といふことである。この新燃料は今やストックホルムなどで盛んに賣出されてゐるが或る點においてはガソリンよりも優秀で、從つて益々需要を増加してゐる。

滿洲管見（九）

笠神生

總領事と滿鐵

『滿鐵は今國家です。總領事が第一の問題……滿鐵が第一國に立つのはあたりまへぢやありませんか』

これは滿鐵當局の某要路者が、わたしに對し天狗總領事が、いきなり出したばかりの時であつた。今から思つたところの確證であつて同時に滿鐵なのである。天狗總領事はその時北京公使館一等書記官に轉任して二三日中に赴任するだけはわづかにすさんで居た。或は滿鐵の歡待も何ほどか不平でなかつたのかも知れぬ。それでなければあゝまで何かわたしが滿洲は鐵道問題を第一にすべきでないとでもいふ意見を持つてゐるかのごとく、尻押するとどくやツつけるはずがない。

哈爾賓の街頭

平田さんは例の街の市長の部屋からわたしをさそひ出して街頭をならんであるいた。ロシヤ人にはそうモンスターばかりはをらぬ。わたし達でもそう屈身がせまくない。短い時間でおちおち話が出來ないのは殘念したが、紹介狀を出しそれとなく必要上、わたしは『ちよつと』と平田さんにいつて、街頭から或る階上にするりと拔けた。うまいものである。もうハルビンにもなれて來た。迷つた揚句ではあつたが、建物の階段上これより外はないので、そこへ立つてノックしたが返事がない。二度やつたが依然として人のけはいがせぬ。余り永く人を待たせても仕方がないのでらうかとおもつたら、ソコにベルがあるのに氣がついた。ベルを押すと元氣そうな青年が一人出て來た。來意をつげ京城から來ていた紹介狀を渡して、アタフタと階段を降りて再び街頭へ出た、そこには平田さんが待つて居てくれた。今度はハルビン日々新聞に社員を訪問しなければならぬとわたしがいふと、僕も社長を訪問する必要がないでもないといふ。到頭こゝへもつれ立つて敬意を表してしまつた。

[illegible]平田さんに紹介されて來ると、いゝえ如何ない、といふ返事に、何のそれにはおよびません、といふ。僕と顏がだんだんうせて來た。頭の推薦も得たといふやうな態度なきへは此の國のどこにもないだけれども、外交される程度のな案內人を東京からいふと、どうも勝手のと同じ程度ではなかつたかと思つて居る程に堪えない。平田さんはあの厄介な代物に飛び込まれて悶えたと腹を立てず、のんきな顏をひつ張りまはしたとの話で、つてほしかつたと今でもわたしは思つて居る。

朝鮮名産投票

一道一品推薦

ハガキに道名と目的物及び投票者の住所氏名記入の事

廿七日迄の整理數

締切九月末日

黄海道

四七四〇七票 北栗無砂米
五五二一票 載寧燒酎
三六八六票 黄州林檎
二三四〇票 朝鮮燒酎
五三三五票 遂安栗
二五九票 金川大豆
一三六票 長淵牛
▲三八票長淵小麥▲二二票瑞興石灰▲一一票海州墨▲一〇票毛皮▲一〇票天日細工▲一〇票鐵▲八票金川[illegible]▲六票信川リンゴ▲四票石首魚▲二票泥炭▲二票長淵燒酎▲一票硯石▲一票鳳山炭▲一票鮎魚▲一票砥石（溫突用）▲一票金沙太染

京畿道

三四三四九票 素砂の桃
七〇一四票 楊州栗
三六一四票 月谷里サツマイモ
三一六九票 漣川大豆
一八四六票 江華花紋席
一〇五八票 仁川醬油
一〇七七票 蒲鉾ソーセージ
七七一票 長湍大豆
四〇一票 朱安の鹽
三六四票 健稻油
一九九票 安養栗
一五二一票 人蔘
一二一票 廣州麴子
一〇三票 仁川藥酒
八四票 仁川燒酎
六三票 烏山リンゴ
▲九票泡皮▲六票安城栗▲六票江華[illegible]▲四票仁川白米▲三票松の[illegible]▲二票開城糯米▲一票高麗磁器▲一票アルコール▲一票[illegible]

忠北道

二六二八四票 芙江苗木
六九三二票 月明黑鉛
一二八三票 天然炭酸水クリスタル
九〇八票 報恩大棗
七八〇票 永同胡桃
三八五票 煙草
一二四票 永同晒葛
七三票 報恩長壽酒
五八票 朝鮮紙
▲三三票槐川大根▲一二票毛皮▲一五票美江カラマツ丸太▲四票[illegible]

咸北道

一五五九〇票 ツルチュクシロップ
五〇二一票 カラマツ苗木

平南道

一五二三九票 平壤燒酎
一〇〇五三票 寧遠牛
七九七五票 德川亢羅
五二七〇票 竹中炭
一四〇二票 安州官紗
八一〇票 平壤ハム
三五八票 孟山黄楊
二五〇票 寧遠材
一二〇一票 安州炭
八九票 寧遠麻布
七三票 寧遠蔘
四六票 樂浪コンコ
七九票 麻布

忠南道

一三三二三票 鳥致院櫻苗木
四二二五票 公州三[illegible]
三九四四票 鳥致院リンゴ羊羹
四八五票 成歡甜瓜
四二一票 リンゴカステラ
一六〇票 天安胡桃羊羹
一〇七票 論山の酒
五〇票 柳細工

慶北道

七二四六票 大邱リンゴ
一二〇一票 大邱インク
一五四票 杞柳製品
一五〇票 朝鮮紙
五七票 大邱牛皮靴

平北道

一二六四票 渭原端溪硯
三〇七票 乾蝦
二〇九二票 義州牛
一一九〇票 南市の鹽
一〇三票 龜城牝牛
一三六票 熙川紬
一〇一票 義州大豆
一〇〇票 木材
五一票 金

咸南道

四三三〇票 元山カラマツ苗木
六一二票 咸南大豆
一一六票 咸興林檎

江原道

一六四四票 月井里リンゴ
一三四五票 麟蹄の蜂蜜
七一二票 蘭谷ハム腸詰
二三〇票 洗浦カラマツ苗木
二〇〇票 通川苗木
一一〇票 煙草
一〇四票 松の實羊羹
七八票 松の實
六六票 蘭谷牛

全南道

六一一票 白棉油
二九八票 光州刷子
一三七票 トース（煙筒掃除用）
六七票 同福人蔘

慶南道

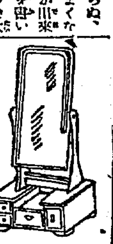
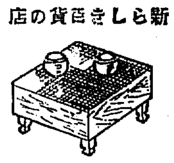
五九七票 龜浦梨
一〇〇票 馬山清酒

全北道

四七一票 金堤米
四一四票 鳳東生薑
三九六票 扇子團扇
二九六票 茂朱[illegible]
木炭

十一月十日から 朝鮮特産宣傳大會

於京城 三越吳服店

美しき漆器と…新らしき百貨店の

玉 岩本漆器店

京城本町二丁目 電話本局一一七四番

京城一の カステーラ饅頭ニ 鶴の子ハ

本町五丁目 電本三三五 長崎屋

各道郡御指定

ニノミヤ式石油發動機
ニノミヤ式製粉精米兼用機
同セントリヒューガルポンプ
同バーチカルポンプ
同米搗製粉機各種
揚水石油發動機販賣

ニノミヤ

4,5,6,8,10,15,20,馬力 富豐品庫在

地方特約店募集

京城府西界洞二二 京城鐵工所

京城驛前 京城鐵工所營業部 電本局九四一番

豚鶏飼糧

京城府吉市町 電本五四二番

安價肥育牛豚用 安價多産養鷄用

精麥米、飼料 澤浦精米所

世界一の 白馬印ウヰスキー

論より證據先づ一杯を試みられよ

資本金 一億五千萬圓

株式會社 安田銀行 京城支店

本店 東京市麹町區永樂町二丁目

支店 釜山 仁川 平壤 其他內地百四十二ケ所

感冒、神經痛

處方を明記せる○ミツワ家庭藥三十二方の內

醫學博士 藥學博士 小平雄氏監督製劑

○ミツワ解熱錠 定價四十錢

主要成分 フエナセチン アセチール サリチール酸 カフエイン

主效 感冒、流行性感冒、齒痛、頭痛、肩凝、急性及び慢性レウマチス、種々の神經痛、疝氣、寸白。

ミツワ含嗽錠 三十五錢

ミツワ鎭咳錠 六十錢

ミツワ・ミユーズ 八十錢

全國の藥店にあり●賣店に無き時は本舖より直送致す

○ミツワ石鹼本舖（東京市下谷區二長町 振替東京七一〇） 丸見屋商店

美味と滋養 飲むだけ身になる 食前食後の一盃

第二回化學工業博覽會銀牌受領

○ミツワ人參葡萄酒

風味高潔清和滋養豐富 元氣增進興奮作用優秀

滋養強壯料

ミツワ人參葡萄酒は、科學的研究を經て效力確實と認められたる人蔘を、特殊の操作に依り[illegible]

▼如斯人は强壯料○ミツワ人參葡萄酒を用ふべし▲

一、元氣を盛んにしたい人 一、延命長壽を願ふ人
一、精神を爽快にしたい人 一、精神や筋骨の疲勞を早く回復したい人
一、精力が增したい人 一、食慾を進ませたい人
一、身體を强壯にしたい人 一、消化を良くしたい人
一、元氣良く活動したい人
一、病苦や不快の感覺を忘れたい人 一、精力が減り元氣の無い人

賣捌 和洋酒食料品店・藥店・雜貨店にあり。

○ミツワ石鹼本舖 丸見屋商店

三南地方を視る（卅）

一記者

盛京水利組合の大雅里貯水池は朝鮮としての一大規模といふべきである。科學が自然を征服すると[illegible]は[illegible]の形容詞であり同時の代名詞でもあるやうな場合が多いのであるが、大雅里の場合はむしろ科學が自然を修飾したとでもいふべき大規模を展開して居るのである。一昨年井上現日銀總裁がこの地に遊んで讃嘆措かぬものがあつたのは決して不思議ではない。大雅里貯水池をながめて讃嘆したのは井上氏ばかりではない、清浦子爵もそうであつた、根津嘉一郎氏もそうであつた。しかし清浦子は讃嘆したばかりで悠々と支那漫遊に旅立つて行つたきり何ごとも聞くところがない、漫遊から帰朝しても別だん方寸を施して經綸を吐いたやうにもおもはれぬ。多分總理大臣になつた後にそれをば明かにする意圖なのかも知れぬけれどもその總理大臣にはなかなかならない。根津氏は朝鮮[illegible]の大企業家としてあの遊一遊の途次、たま〳〵大雅里の貯水池畔に來り「例の人に聞いたものである」「一たいこれで何ぼ儲かるの かね」と。すると例の八答へていはく「十年もしたらうまく行つて一割出ることはまありませうか、大ていは六分か七分……」と。「一割？、タッタ一割？いやいかん、とてもいかん」と根津氏は手を大きくふつてかく否定したといふ。事業家から見たら朝鮮で六分七分、うまく行つて一割では「いやとてもいかん」のかも知れぬ。藤井水利王はそのいかんところを突破してまつしぐらに進みつつあるのである。水利事業はいふて見ればマア[illegible]

……」とは彼れ藤井寛太郎の口癖、この口癖が到頭大雅里貯水池を作り、これが井上氏を動かして故下岡氏を動かして三億五千萬圓の大産米増殖計畫といふ本物の男仕事に仕上げてしまつたのである。この水利王今は土地改良會社の取締役で、何、結構なンザアどうでもいいといふわけでエッサッサと東奔西走してゐる。井上氏は讃嘆はかりはしてゐなかつたのであつて、観察をおへて東京へ歸るや否や朝鮮の産米増殖計畫のために大きな提灯をつけて大きな太鼓をドン〳〵叩きまけつたものだ。むろん景氣のよい時ならば國民は賛成して一大興農行進が出來るはずだつたが、何しろこの不景氣では思ふに任せず、殊に[illegible]が國家的だといふ理論が勝つて（産米増殖が國家的事業だとする議論が朝鮮で發芽し結實したといふ事實は注目すべき歴史的事象だと思ふ）ともかくあの計畫は首よく樹立され、ただこの計畫遂行上必要なる技術的機關は別に特にの會社即ち土地改良會社を東拓の外に作り上げたのだ。こゝまで發展するとは井上氏が大雅里を見て讃嘆しただけでは誰もの想像に浮ばなかつたことである。運命はどこから開けるか分らぬなど、ツイからなると、老蔵じみて言つても見たくなるではないか。

慶尚南道

三千浦棧橋増設運動

三千浦埋築工事の完成に伴ひ同地繁榮と沿岸貿易船の利便をはかる爲延長六十間の棧橋を増設することとなりすでに工費三萬圓中一萬七千圓は道地方費の補助を仰ぎたるも殘余の經費は同地元民のみにての負擔としては頗る困難にして[illegible]増設の實現を期[illegible]三千浦と關係ある釜山の商業團に應援の[illegible]において應分の後援あるやう[illegible]は何れも廿六日釜山商議を訪問[illegible]し花輪[illegible]折衝[illegible]に關し[illegible]に決定した（釜山）

東萊温泉電車引込線

十月十六日開通式擧行

東萊温泉の電車引込線工事も一兩日中に完成する事となつたので十月十六日これが竣工式を兼ね電車開通式を擧行する由であるが[illegible]組合主催となり大々的[illegible]を開催する由（釜山）

有島元河東校長辭職

河東小學校の安部元訓導にからまる事件に關し同校首席訓導の宮脇文官懲戒委員會においては過般懲戒免官を[illegible]協議中であつたが一方南海公立普通學校長に轉任せる有島昌齢氏は[illegible]依願免本官（南海公普通學校 有島昌齢）[illegible]に[illegible]たので廿五日付を以て左の通り

神宮競技庭球豫選

平山、倉重組優勝す

朝鮮神宮競技派遣の[illegible]庭球選手[illegible]大會は慶南協會主催にて廿五日午前十時から法院および府廳コートで擧行したが、參加チーム三十八組、[illegible]左の如き成績を示した。

準決勝戰　平山、倉重四—〇要、許　安田、犬東四—〇[illegible]

決勝戰　平山、倉重四—一姜、趙

かくて平山倉重組の優勝するところとなつたが、朝鮮神宮競技選手は平山、倉重組の外、姜、趙組と協會推薦による安田、犬東組の三組と決定した。（釜山）

嬰兒の死體

釜山鎮海岸に生後三ケ月位の嬰兒の死體が漂着したるを廿五日朝附近通行の鮮人が發見し屆出と共に檢視の結果全身腐爛して男女の區別もつかぬ程であつたが他殺の疑ひ十分あり犯人嚴探中（釜山）

人妻を誘拐

弄んで賣飛ばす所な御用

釜山府[illegible]町一丁目[illegible]は[illegible]不[illegible]の若い男女が宿泊し居るを廿五日朝巡視中の[illegible]刑事部長が發見し取調したるに男は長崎縣[illegible]女は[illegible]浦山[illegible]（二）と名乘る[illegible]は國の妻なりと稱す[illegible]見込み[illegible]に嚴重取調べたるに女房を[illegible]の上賣飛[illegible]に

お人形歡迎會

咸興のお人形歡迎會は廿六日小學校講堂で[illegible]十時から內外[illegible]學校生徒および女兒童[illegible]に在住外人並に有志參集、日米兩國歌の合唱の後[illegible]たる可愛いお人形は宣教師マグレー氏令孃ミスマグレーの手から中野知事令孃アツ子さんに愛すべき歡迎の辭を以つて手渡され中野知事の歡迎辭、永生中學校長スコット氏の答辭あり閉會後左のプログラムを以つて盛大な餘興が催された（咸興）

▲夕日飛行機小學校生一▲名のり遊び咸興幼稚園▲小さな子供咸興幼稚園▲むつの日赤いマント女生一年▲唱歌永生女學校▲不思議な人形咸興幼稚園▲流れ星コスモス女生一年▲人形病院小學校生二（寶田に唱歌話人形病院の一場面）

慶尚北道

腦脊髓膜炎

稍ト火となる

慶北道では腦脊髓膜炎および[illegible]が[illegible]に流行中の腦脊髓膜炎は猖獗以來二十五日までに患者十名で內七名死亡したが公醫を督してこれが防止にあたらしめてゐるが目下やゝ下火に向つた傾[illegible]二、三[illegible]發生頗る[illegible]を[illegible]へつゝ[illegible]衛生當局を惱しつひに[illegible]におよぶものである（大邱）

水組豫定地調査

慶北道における明年度の水利組合設置豫定地調査のため本府より[illegible]技師[illegible]技手[illegible]月廿六日より十月九日まで達城郡[illegible]、[illegible]郡、[illegible]郡、[illegible]郡內各水利組合[illegible]地調査のため出張した（大邱）

平壌飛行隊が夜間飛行を決行

十月三日から十五日まで　最終日に平壌南浦間を往復

平壌飛行隊の夜間飛行計畫は既報の通りであつたが飛行場の設備や照明燈の施設等總てこの程完成したので來たる十月三日から十五日まで夜間飛行演習を行ふことになつた、使用機は乙式一型偵察機三[illegible]機で操縱者は同隊の[illegible]本中尉、[illegible]武中尉、神崎少尉、金谷特務曹長[illegible]長、[illegible]務曹長の五氏を選拔して之れに當らしめるはずである、飛行演習項目は夜間編隊飛行、離陸飛行、市中搜査などであるが演習中は地上部隊と[illegible]との間に[illegible]その他各種の[illegible]が交されるはずで最終の夜は三機雁行して平壌南浦間往復飛行を決行すると（平壌）

東海岸の不漁

慶北沿岸の九龍浦、甘浦、[illegible]などの海岸地方は目下さわらの漁季をひかへてゐるが本年は水温のかげんがいまだ漁獲すくなく漸く[illegible]して[illegible]も一艘の漁獲高は僅々四五百尾より五六百尾程度で石油[illegible]一艘[illegible]出すにはすくなくとも一千尾以上の漁獲なき限り收支償はずといふことで目下同地方漁民は不況のドン底に悲鳴をあげつゝ毎日空しくべつてゐると（大邱）

江口港の鯖

漁期に入る

江口港を根據地とする[illegible]鯖漁船數は目下[illegible]出動中であるが一日の漁獲四五百尾至千尾（一尾八九錢）におよびいよ〳〵秋漁期に入つたものの[illegible]である。（大邱）

ヘアリーベッチ栽培

獎勵を通牒

慶北道は農家肥料自給の一策としてヘアリーベッチ栽培の獎勵を企てこれの栽培法に關する[illegible]を管內に通牒した（大邱）

▲本種は性極めて強健で特に耐寒性強く甚しき重粘土砂質土の外排水佳良なる畓の裏作、田作、桑園果樹園の間作として栽培容易なる

▲播種は毛中にあつては九月中旬、畓刈跡の場合は十月中旬までに下種すべし反當一升五合とす

常成會バザー

十一月三日大邱刑務所で

大邱常成會の主催によるバザーは十一月三日明治節の佳日をもつて大邱刑務所[illegible]內で開催する、[illegible]は[illegible]工[illegible]分[illegible]たが[illegible]は特にその設備等を[illegible]し[illegible]關係者の[illegible]はかり[illegible]は[illegible]を[illegible]すべしとなほ[illegible]使用の自[illegible]をも出す[illegible]

小學教員合格者

慶北道で[illegible]八月施行の小學校及普通學校教員第二種試驗合格者左の[illegible]

慶尚北道（秋季演習）

浦項消防組秋季演習

慶北浦項消防組では二十六日左記順序により秋季演習を擧行し正午より官民有力者および各新聞記者を招待し慰勞宴を催した（浦項）

一、午前七時打鐘二、午前七時半便乘機關集合三、午前八時より人員點呼四、警察署長の檢閲五、便乘機長の訓示六、喞筒操法七、放水演習八、警察署長の講評

浦項青年團總會

浦項青年團では廿五日午前九時より浦項公立普通學校講堂において秋季總會を開催した（浦項）

忠清南道

儒城の遠矢會

一等は群山の渡部氏

二十五日午前九時より儒城溫泉における遠矢會は出席者三十餘名に達し三十三間五尺三寸の遠射（二十射）會を擧行したが成績左の如し

一、群山渡部[illegible]（十七本）二等[illegible]木浦理[illegible]（十六本）三等全州北本（十六本）四等[illegible]（十四本）五等全州鈴木（十三本）六等全州[illegible]谷（十三本）七等[illegible]井（十三本）

優勝旨祝庭球戰

我が[illegible]に[illegible]六[illegible]女[illegible]先般の朝鮮女子[illegible]の優勝旗を[illegible]した大田高等女學校では須々木校長始め坂本、有[illegible]、米[illegible]本[illegible]氏の[illegible]のためこれを[illegible]ぎらうと共に[illegible]を[illegible]祝[illegible]庭球試合を廿六日午後三時から同校[illegible]コスモスの花もゆるるコートにおいて[illegible]氏[illegible]に[illegible]行したが[illegible]ち[illegible]る選手の[illegible]に[illegible]な[illegible]に[illegible]

義州の牛大市

未曾有の盛況を呈す

平北義州に開催された道畜産大會牛大市は京城の大市を了へた[illegible]に[illegible]された[illegible]臺に[illegible]一行を招待して廿四日盛大な[illegible]を[illegible]に十余名の內鮮[illegible]にある[illegible]の有力者朝鮮內務部長、小島警務部長等はじめ百余名の參觀あり素晴らしい好成績に終了した、集まつた牛は三千頭內五百頭が賣約濟み、余興に牛の競爭、牛と人の競爭牛のマラソンなど珍しい催しあり、それより[illegible]における盛[illegible]並に[illegible]州近來の大盛況であつた（新義州）

八校の聯合運動會

十月一日・島川原で

鎮南浦公立普通學校八校の聯合運動會はいよ〳〵十月一日島川原で擧行する（鎮南浦）

紅軍　有光、松崎一　島田、李一　堀口、本田二　三戸口鉤[illegible]〇　須々木石塚三

白軍　土井、大森　木村、伊藤　執足、水谷　坂本、有村　〇倉本、奥[illegible]

全義公普運動會

全義公立普通學校の運動會は廿五日午前九時から同校庭で開催父兄側も競技に參加し頗る盛會であつた（全義）

平安南道

平壌寺洞間電車

十一月上旬運轉開始

平壌より寺洞への電鐵線路は目下着々工事を急がせて居るが寺洞驛構內の[illegible]工事の遲れとなり運轉開始の[illegible]は[illegible]くも十一月上旬から運轉開始さるはずであるが[illegible]的な[illegible]より新設線と[illegible]從來[illegible]から[illegible]、文[illegible]の各[illegible]寺洞間三マイルの運轉時間に[illegible]三十分乃至四十分を要することとなるから[illegible]料は[illegible]五錢乃至二十錢までの二十分[illegible]に[illegible]することに決定する[illegible]でかると（平壌）

平壤雜俎

◇第八回物價獎勵中央委員會では全國的に年二回物價データを開催することを申合せ各道府郡に移牒して來たので平壌府では十月一日から三日間物價データを開催すべく府內各商組合、銀行其他關係者に具體的奨勵方法を諮問する[illegible]

◇平壌府内に最近支那方面から何片四十斤其の他價格四萬圓を密輸入の消息を得た平壌署では俄かに活動を開始した

◇日下道內では安州警察署に朝鮮人巡査一名內地人巡査一名の缺員を生じて居るので近く各道に多少の異動が行はれる模樣である

◇朝鮮が生んだ天才的女優花柳春幸一座三十餘名は二十六日午後二時半賑々しく平壤に乘込み二十八日から金千代座で開演するが久し振りの妖艷技を嘉賞して前景氣盛んである。

◇廿三日平壌七十二聯隊中尉土佐木[illegible]は小島[illegible]宅で毛布其の他を何者かに盜み去られたが當時其の附近を松葉杖をついた跛人[illegible]が居たとの事に端緒を得た平壌署では府內の不具者松葉杖の跛人を物色捜索の結果二十六日犯人を逮捕した[illegible]取調べ中

◇九日[illegible]平壌郵便局では[illegible]を見た例年より約二週早い

◇大同郡教育主事[illegible]家[illegible]は二十六日午後一時三十分[illegible]平壌の自動車で平壌驛に參拜し同日午後六時から公會堂の歡迎會に出席の後府內の[illegible]より十時同校[illegible]に[illegible]した

◇十月十七日の平壌神社大祭は御大典諒闇中につき祭典のみに止め催し物等は見合はせる事となつた

◇大同郡秋乙美林面寺洞朴昌昆（二三）は廿四日午前八時半平壌軌道の新設工事中に平壌軌道車（[illegible]）の[illegible]で[illegible]を[illegible]

◇（[illegible]）は[illegible]府內新倉里大同自動車の[illegible]運轉手[illegible]發と衝突し[illegible]負ふた

◇廿四日午後四時半平壌府西町五十七番地飲食店營業成方で四人の支那人車夫が[illegible]ダンマと稱する賭博開帳中御用を食つた

◇平壌府[illegible]附では二十七日午後四時府內[illegible]人勝寺で故山縣伊三郎公の追悼會を營んだ

金千代座

平壤　女優劇花柳春幸一座　大勝寺　廿八日初日　御目見得狂言　一、賀の祝　二、[illegible]式[illegible]　三、番[illegible]

平安北道

走高飛一米六六

朴基中君新記錄を作る

第三回朝鮮神宮競技大會平北豫選大會は二十五日午前九時から新義州で擧行した當日の記錄左の如し（新義州）

▲百米　一等金[illegible]十一秒二等[illegible]

▲二百米　一等朴基中二十六秒三等[illegible]

▲四百米　一等[illegible]五十九秒二等金[illegible]

▲八百米　一等[illegible]二分二十秒二等[illegible]

▲千五百米　一等[illegible]四分三十秒一等林淳吉

▲五千米　一等[illegible]十七分[illegible]

▲砲丸投　一等[illegible]

▲走高飛　一等朴基中一米六六

▲走巾飛　一等水田茂男[illegible]

▲四百米リレー　一等[illegible]

▲千六百米リレー　一等新[illegible]チーム

全鮮穀物聯合大會

新義州で廿七日から三日間開催される第十回全鮮穀物聯合大會の出席者は四百余名で[illegible]を[illegible]した[illegible]程は左の如し

▲第一日（廿七日）午前九時開會[illegible]

流筏は大體順調

今後の天候が最後の鍵

伊藤營林署長談

[illegible]營林署長伊藤[illegible]氏は鴨綠江流筏地方における流筏狀況を[illegible]の如く語る[illegible]本年は初めに不足打ちの洪水[illegible]が其の[illegible]の一部を阻止されたので[illegible]つた頃から今日までは減水[illegible]ならず[illegible]引水を[illegible]する有[illegible]となり[illegible]水[illegible]は[illegible]至つた然し[illegible]努力の結果[illegible]豫定通りに[illegible]は[illegible]風雨に[illegible]せば[illegible]

本年の水[illegible]功不成功の分岐[illegible]として多大の注意を要するのである。私が[illegible]感じた事は[illegible]ある人々の[illegible]に後を[illegible]近づく支[illegible]際限くましいものであった。[illegible]林署管[illegible]七十萬尺締を[illegible]計畫として[illegible]々[illegible]行しつゝあるは全く[illegible]員諸君も其の精勵[illegible]團協に[illegible]した[illegible]平穩の[illegible]となる事も[illegible]後の多端多[illegible]

牛疫又發生

累計八・五

平北道[illegible]の牛疫[illegible]まだ[illegible]せず廿三日昌城郡東倉面に一頭發生して累計八十五頭となる（新義州）

◇第二日（廿八日）午前九時開會、主催地代表挨拶、會務報告午後[illegible]車同五時知事招宴

◇第三日（廿九日）午前九時開會運賃問題に關する協議會、新義州市內[illegible]察、午後安東縣[illegible]同五時安東穀物[illegible]組合招宴

咸鏡南道

元山近海の鰯秋漁

今年は遲い

咸南道の秋イワシ漁に北部利原[illegible]用方面はすでに盛漁期を過ぎ魚群漸次南下しつゝあるものと期待されてをるが、元山近海には未だ回游の模樣がなく、昨年に比し約一週間おくれてをり、當業者はすでに充分準備をとゝのへ、出漁を待ち兼ねてゐる狀態であり、十月に入らなければ漁獲はあらうといはれ北方に出漁して未だ歸港せぬ船も大分ある（元山）

表面は頗る平穩

元山商議の選擧形勢

元山商議選擧の形勢は、內地人側は定員十六名に對する候補者は十六名で表面頗る平穩、唯の鮮人側は六名の[illegible]して居るが中には當選圏以上の得票を集めるに熱中して居る所から或は自派の得票を分配して別に一二の隱れた候補者を出す作戰あるのではないかとみるものもある

武道大會開催

演武場の落成式に

元山警察署では演武場十六坪を增築中で十月中に竣工の豫定であるが落成式には咸南武道大會を擧行するはず（元山）

帽子を掻拂ふ

元山[illegible]（二）は[illegible]時里[illegible]に[illegible]から[illegible]十五日[illegible]二丁目[illegible]から[illegible]子をかつぱらひ逃げ出した處を[illegible]家の妻女に捕り押へられた（元山）

滿洲

地方委員選擧近づく

十月一日にせまる地方委員の選擧は一向振はず沈默してゐるが[illegible]日の切迫につれ彌々有志の推選也[illegible]運動開始されはじめた、理想選擧[illegible]として地方中堅階級が立ち[illegible]に[illegible]の代表者を選擧せしめんと各方面に運動開始したが[illegible]任者として目さるゝ諸氏左の如し（營口）

木下銘吉、松木良男、古川米吉、小川義和、安彥英三、關甲子郎、坂井喜朗、森田是成、野村[illegible]

安東滿俱歸る

長春で廿三日から三日間にわたり擧行した滿洲外野野球大會に參加した安東滿俱野球團は廿六日歸安した大會は雨天が不參加の為安東、撫順、長春の三組でリーグ戰の結果長春撫順二敗となり本年の優勝者は長春と決定優勝カップと優勝旗を獲得した、因に安東滿俱の戰跡は對長春四對二でやぶれ對撫順は十對八で快勝した

驅逐艦溯江

安東縣の歡迎

旅順要港部所屬[illegible]の率ゐる驅逐艦第十、十二、十六、十八號の四隻は沿岸航遊の途次廿七日正午鴨綠江を溯航し[illegible]下に無事投錨した、市民は國旗を掲げこれを歡迎しなほ官民有力者は廿八日午後四時半から公會堂に乘組將校の歡迎宴を催し下士卒のためには滿鐵倶樂部の大禮堂を當てその勞を慰ふた（安東縣）

販賣課優勝

安東秋式野球戰終る

第六回安東スポンヂ野球大會は數日間にわたつて擧行されたが再び一勝殘りの[illegible]販賣課優勝の手に歸した[illegible]の通り（安東縣）

成績左の通り（安東縣）

販賣課	一四—一五	朝鮮肥料
郵便	一三—一二	郵便局
販賣課	一〇—〇八	昭和倶樂部
閑散[illegible]	二三—一五	支那
工務係	一四—一九	電燈
鷄冠山	八—一六	工務
鷄冠山	七—一六	機關區
販賣課	一〇—九	工務
販賣課	一〇—四	鷄冠山

地方人

▲伊藤新義州府尹披露宴　新任新義州府尹伊藤正懿氏は廿五日夜公會堂に安東縣の官民有力者支那側官憲を招待して盛大なる披露宴を張つた

▲平壤鐵道局長披露宴　毎日申報社平壤支局長田某氏は目下府尹郡守會議に列席中の各府尹郡守を招待二十七日午後六時より長春館に於て晩餐會を開催

▲菅木平南知事披露宴　府尹郡守會議にて來壤中の府尹郡守を廿六日午後七時より鐵道ホテルに招待して張宴した

▲吉田咸興郡守披露宴　咸興郡守吉田秀英氏は廿六日午後四時半から咸興の官民多數を咸興小學校講堂に招待して新任披露宴を張つた

▲鐵道病院長披露宴　故佐藤勉太郎氏の後をうけて就任した大田鐵道病院長簡谷嚴氏は二十七日夜官民有志[illegible]官民多數を招待し披露宴を張つた

▲小林錦七氏（代議士）廿六日朝京城内地へ

▲龍山長平氏（釜山刑務所長）所長、[illegible]の爲め十月一日上京

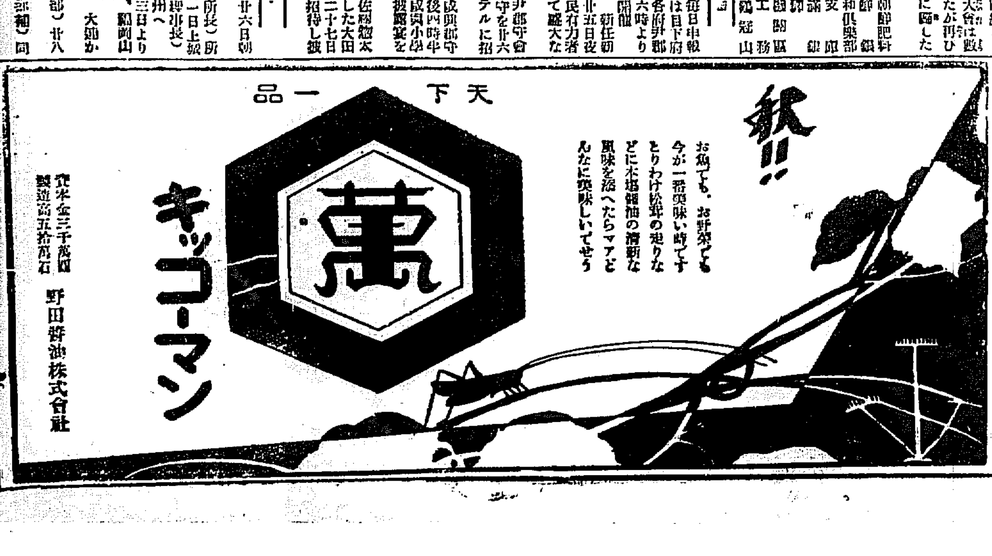
▲矢島晋次氏（鎭米協會理事長）廿六日釜山通過新義州へ

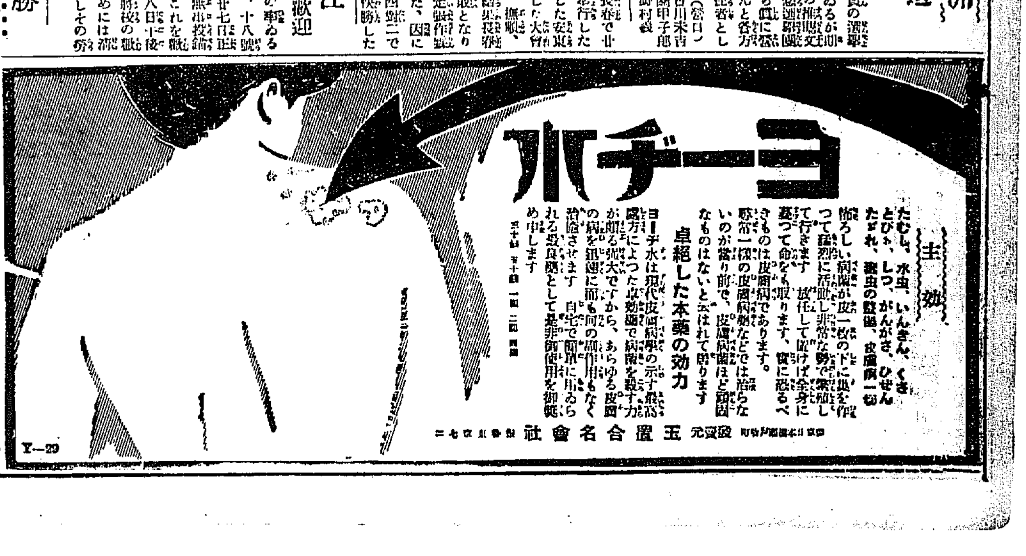
▲藤原喜藏氏（平南知事）一週間の豫定にて長崎、福岡山口各縣視察の爲め出張

▲太田福[illegible]氏（安東縣警務所長）大邱から廿六日赴任

▲小池鶴一氏（忠南道警部）[illegible]廿八日大田[illegible]任

▲田所龍太代氏（同道警部補）同





（昭和三年第三種郵便物認可）

豪壯爽絶の 金剛山を探ねて（四）

平壤支局 小西生

▽海上の亂痴氣▽

昨日一日碇泊した吉林丸は再び二日分の客をのせて可なりこんで居る。風があるので船の動搖を恐れた連中は大抵船室に潛んで了ひ［illegible］ふ、それでも饒舌な手合は相かはらず饒舌を並んで局碁を戰はしてゐる。船は出た。誰が買つたのかハジヤ豆の袋があるので喰ひながら食べて居るものもある。第一の用意にと魔さんが酩酊した船に上は船の惡［illegible］から一行の大［illegible］のものは一服づゝ行んだ然し旅の淋しい船に酩酊が激しくない。

× ×

船の中には「旅客の用意がある必要な方はボーイまで申出られたし」の貼紙がある。松尾幹事は早速［illegible］者の取締めに着手した。船に［illegible］い人達はお腹が空かないから［illegible］

が松尾幹事何々［illegible］に忠實で船は大した事はありません元山につくのは十一時ですからそれまでにお腹が空いては困りますとすゝめる。初めから船では食事せぬことにきめて居たものに私の外に二顆の［illegible］佐藤林氏があつた。然し［illegible］がいふのには、松尾サンがいらぬと、おしやるから小西サンさへ注文されたのに貴下がとやると「そうか小西君が食ふといふのに俺が食はぬは男子の恥辱だ鬼も角僕のも注文して與へ」との注文だ。と大笑ひして出て行く。暫くすると僕は多人數の［illegible］に用意がしてありません相です、からおまで我慢ぐ願ひますと幹事の先生今度は注文の取消しに來た。この時分から船の搖が劇しく出し始め、腕は［illegible］れてゐうつつにその［illegible］を聞いて居た。

× ×

しみ出して、へこ垂れるに堪ひないと一人きめにしてゐるのを眺めな

から文字通りの牛飲馬食をやつて御馳走がなくなつたからサツく、切上げて元の船室に戻つたのは自分ながら愉快であつた。

きた起こしに來る、こんどは上甲板である、十日の月はやさしい光を海になげて金波銀波をひるがへし、瑕ぽんやりした大海原の真た中を一直線に波を蹴つて進む船の眺めは實にいゝ、先頭からメートルの揚がつて居る連中は御機嫌に唄ひ出したり、踊つたりはねたりして騷いで居る。酸ぶし安木節が終ると今度は［illegible］のは皆見物に來た［illegible］が非道いの、船客達は皆見物に來ると相撲になる。吉田君の［illegible］い［illegible］、［illegible］の［illegible］なく、ひつぱり出して相手を仰付る、體が大きく少し力のあり相なものは片つぱしつから選び出しお仕舞ひは船員までに［illegible］の皮をむかさす、相手がなくなると船夫までに、いどみかゝるところ全く得意の絶頂である。吉田君の力は馬力といふ奴で思ひ力より上だそれでも元山の灯が見えるようになると遊び疲れと酔ひざめで漸く静かになつた。」

だ、入營しく振り起こすので眠つて居た私は何の事かわからずいはれるまゝに甲板へ出で見ると一行中の猛者連中が酒盛の最中であつた、いつの間にか夜になつて居る、晝前で仕入れた酒が見事にゆられてある、すでにビール瓶が數を亂して討死して居るところ處の［illegible］は睡眠になつてる私の眼を見ると一緒に酒やビールをつきつけて［illegible］、勢ひである。船に弱いと知つて私を困らす方策に出て居る事を直覺した私は一寸困つたが、ナーニ大した事もあるまい、どうせ酔ふなら船より酒の方が役で人間きもよいと度胸を定めると案外平氣なもの、飲むわ、食ふわ、人の分の酒まで盛んに流し込つてカレヒのさしみの出様が遲いとこちらから［illegible］するやうになつた、一同は［illegible］つた、それでは［illegible］が［illegible］やないかといつた風な顏と今に苦

〰〰〰

京畿道

開城の 栗拾ひ

二日は早い 九日に延期

京日アルカウ會主催の開城栗拾ひ大會は十月二日開催のはずであつたが調査の結果二日では少し時期が早いので一週間繰延べて九日の第二日曜に催す事となつた今度特に開放される彩霞洞の大栗林は開城の朴宇鉉氏所有のもので今回特に本社の請をいれて開放されたものである會費は大人一圓九十錢小人は半額参加希望の方はハガキ又は電話で本紙アルカウ會まで申込んで頂きたい

神宮競技

仁川豫選

二十六日仁川公設運動場で舉行した朝鮮神宮競技仁川豫選の入選者は左の通りである

▲走幅跳 金大申（五、八一）林保和、具礎煥、櫻井敬一、山下延（以上一般）松下誠一（五、九九）小山松司、內島四郎（以上青年）

▲砲丸投＝和田信三郎 九、三二）金祥坤、金大池、石塚武明（以上一般）竹田想次（一二、〇一）有島隆吉（以上青年））

▲四百米＝李寅濬（五十九秒金煥根、金興植、曲築、張玉寳（以上一般）關原清平（以上青年）

▲百米＝吳鎭煥（十二秒）關原米次、林保和、安鎭哉、金其祚（以上一般）有島隆吉（十二秒）山田靜雄、松下誠一、李寅云森商次（以上青年）

▲走高跳 山下延（一、五七五）和田信三郎（一、五七五）金大池、奥渡谷五郎、古村次郎（以上一般）內島友四郎（一、四〇）竹中茂代一（以上青年）

▲八百米 李寅濬（二分、二六五分の四）朴興鎬、相良政一、金煥國、金鍾山

▲團體投＝櫻井敬一（二五、八）小山松司、鄭鎭淑、石塚武明、根岸浦（以上一般）

▲棒高跳＝木村憲雄（二、九八）山下延、沖奬、生野元一郎、松本庄治（以上一般）

▲千五百米＝崔奎俊（五分十六秒五分の四）李仁根（以上青年）元興榮（五分［illegible］）宮川郁、金街實、朴勝鎬、明田政木、矢田政一（以上一般）

▲二百米＝金興植（二五秒）關原米次、安鎭哉、金其祚、山下竹與（以上一般）山田靜雄（二四秒五分の四）有島隆吉林［illegible］次、山口俊（以上青年）

▲ロー、ハードル＝金鍾國（三二秒）生野元一郎（以上一般）

▲槍投 和田信三郎（三八、一〇）沖奬、木村憲雄、尾下國雄、金鍾山（以上一般）岩崎勳（以上青年）

▲五千米＝趙呼相（一八分二〇秒五分の三）田東五、元興榮、金街實、張玉寳（以上一般）

▲ホ、ス、ジヤンプ＝林保和（一一、五七）櫻井敬一、金大池、關原米次、山下延（以上一般）

▲ハイ、ハードル＝金鍾國（二一秒）山下延、沖奬（以上一般）

▲一萬米＝田東五（三八分）元興榮、金街實、櫻井文一、金大成（以上一般）

▲八百米リレー（推四）＝有島明吉、山田靜雄、松下誠一、森彥次（以上青年）李寅云、山口俊、關原上輔平（以上補缺）

仁商役員會

仁川商業會議所役員へ［illegible］中の仁川商業會議所役員選任の認可申請は正副會頭は二十日付、常務委員は二十二日付それ〴〵認可されたので同所では廿七日午後四時第一回の役員會を開き所務分擔等に關する件および部會員選任の件につき協議した

入院中の娼妓を連出し

問題となる

仁川敷島遊廓組合役員［illegible］二名および仁川［illegible］等は二十五日午後一時頃から花柳病［illegible］所な敷島病院に入院中の娼妓［illegible］八、［illegible］外一名をつれ出して月尾島の［illegible］を張り夕方は廓内の組合事務所で二次會までやつて歸院させたといふ風説があるので仁川署では廿六日午後事情取調べに着手した

〰〰〰

忠清北道

獻穀田 鎌入れ

稀な出來榮えで豐熟

［illegible］中であつた忠北道の獻穀田は稀な出來ばえで豐熟したので廿五日午前十時から縣知事、內務部長、立山［illegible］との外［illegible］

若水［illegible］氏鎌入れを奉仕した、かくて廿八日まで架乾廿九日脱穀卅日十月一日精選二日精選三日豐けり、［illegible］粒えり摘揮四五日［illegible］米六日［illegible］大［illegible］を終り七日修祓式を舉げ、八日いよ〳〵奉納の獻米を［illegible］者から道に納附する事となり道から更に本府へ奉納の運びとなるのである、獻米は獻穀田收納穀四斗中から精白して一升を粒えりして奉納するものであるが、今回はなほ朝鮮神宮に別に五合を奉納する趣きである。因に廿五日の刈り込みの日から廿九日脫穀日までお日間清州署および消防組から警役警戒の任につく＝寫眞は獻穀田の鎌入れの當日（清州）

産米改良講演會

忠北道においては消費米産米改良宣傳につき道知事以下幹部總出に

期日 十月九日（第二日曜日）

場所 開城彩霞洞大栗林

開城栗拾ひ大會

會費 往復汽車賃栗拾券合せて一圓九十錢小供は半額

主催 京日アルカウ會

〰〰〰

全羅南道

海藻出廻り 珍しい不況

原因は潮流の變動

て道內要所において講演會を開催して宣傳につとめてゐるが清州の日割は二十七日道［illegible］校講堂において［illegible］內務部長、［illegible］吉山郡守、立山［illegible］長その他の講演會を開催した（清州）

木浦の海藻取引も大體終りに近づいたが本年の出廻りは昨年の四十八萬圓に對する二十一萬圓といふ實に木浦はじまつて以來の不況で價格も約三割方安くしたがつて關係筋にも相當打擊を蒙つた向きも少くない原因であるこれが原因は潮流が變動した爲で昨年がすでに大正二年來の不作といふのに更に本年はその半作といふみじめな模様だつたによるといはれてゐる

光州神社總代會

光州神社では廿五日午後二時より社務所にて總代者現代および各總代會開催左の諸件を協議した

▲昭和二年度公州神社歲入歲出豫算

▲創立滿十年記念祭を臨間中につき來年春季迄延期の件

▲石段改成に關する件

▲社殿圍の件

▲本年秋祭の件

光州刷子組合

十月上旬總會

本月中に搬込をなし

光州刷子生産販賣組合では二十四日午後一時より光州郡廳樓上において臨時總會を開催し種々協議する處があつたが入月中に第一、二回の搬込をなし米月上旬總會を開催する事等を協議し午後五時散會した（光州）

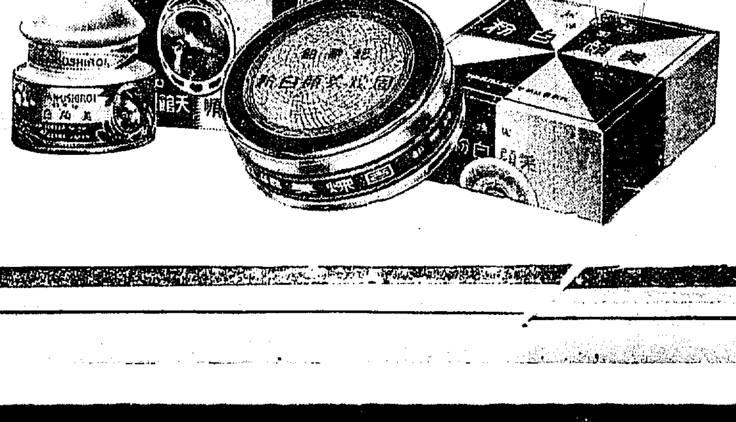
純 無 鉛

美顏白粉

高らかに唱はん
美顏白粉の眞價を

附きよし伸びよし
氣品は高し……
鉛分のなき……
良い白粉……！

內務省衞生試驗所
無鉛證明



◀桃谷化粧品研究所創製▶

京日俳句　高濱虚子選

秦平雜詠……（完）……

霜天の寒鴉日々に降り止まず　霜天　久米寧嶽
寒餅や近ちの城市の夕霧　同
繪洗や繪具にごりの寒の水　京城　楓　個人
瑠子再くや漢江見ゆる山畑　同
お流れとなりしにはかや花の雨　馬山　北川俊笑子
大師は防長會や花の雨　同
花深く人みて弓を引きにけり　同
臨引の今朝まりし櫻かな　春川　佐藤裸骨

○次回課題『秋』五句　九月三十日締切

秋風雜記……（二）

良寛和尚の座右銘

東京にて　茶谷八郎

世はまさに昭和時代と文明開化はしてゐるが、その昔の良寛ほど『おのれ自身』を大切にいたはつてゐる者があるであらうか！おのれ自身をいたはる者こそ『隣人愛』の深いものでなければならぬ。

加之、ものを片言にするな、身分不相應はおのれをほろぼす因であると、噛んで含めるやうにいつてゐるではないか。誠りの『こゑをいだすべし』も決して見逃してはならない。

かうして一戒として輕視し得るものはないが、わけて僕が面白いと思ふのは——飲食の意味が深分

ほとけに花をそなふべし
草木をうゑには（庭）をさうじし
頭をはこび石をうつすべし
をり／＼足にきう（灸）すへべし
あぶらけさかなくふべからず
あぶらの多きものくふべからず
つねにあは（淡）きものくふべし
あさね（朝寝）すべからず
大食すべからず
ひるね（午睡）をながくすべからず
みにすぎたる事すべからず
おこたるべからず
ものをかたこと（片言）にすべからず
こゝろにものをかくすべからず
酒をあたゝめてのむべし
かみさかゆき（月代）すべし
てあし（手足）のつめ（爪）きるべし
くそそゝぎやうじ（楊子）つかふべし
ゆあみすべし
こゑをいだすべし

×

これは詩ではない、が詩に辞が含まれてゐる。或ひはまた世にいふところの衛生の訓戒ではないが、訓戒以上の、胸にしみ／＼こたへる力強い、しかし何まで誦地川服りを擁かせない大きな訓戒である、それもそのはず、訓戒のための訓戒では決してなく、まづおのれ自身を戒める『覚え書』のやうなものであるから。——これこそ大愚良寛和尚が無造作に書き止めておいた『座右銘』といつてもいゝものである。

×

良寛のことを、今更僕が如き凡俗な者が云々するのは、かへつて聖を冒瀆するやうなものではあるが、平生一讀する毎に頭が下へられたので皆人と共に語りたい。

良寛はさすが和尚だけあつて（へんらか）先づ『ほとけ』のことをいつてゐる、それも實に簡にして明、『花をそなふべし』で充分、然も萬人にその意のあるところが容易に理解出來る。

僕はこの一戒を一層味な僕の戒であると思つてゐる。

×

次ぎに『草木をうゑ』は和尚らしい、また風流らしいいひ方のやうではあるが、實は禪僧における智識のやうな感じがある、その微細な點にまで疎かにせないところを、考へれば考へるほど味ひ深いものになつて來る、『をり／＼足に灸すべし』にいたつては、同じ『すべし』式でも『すべし』の感じがかふ、これはまた戯ァァに描かれてゐるやうだ。

『あぶらきもの』をつゝしませ『大食』を戒め『朝寝』『晝寝』に注意し、含蓄から風呂、月代、手足の爪にまでおよんでゐるにいたつて、如何に潔癖家、節制家であつたかといふことがわかる、といふより如何に和尚が大師にしたかといふことが窺知出來る……

含まれてゐることに留意されたい——『酒をあたためてのむべし』の一項である。

これが普通の和尚なら、晩酌、或は俳人なら『酒は』といふたに違ひない。『を』と『は』の違ひだけといつてしまつては這般の消息にならない、また、困するところ同じであるなぞと思ひ込むのも早計である、大愚良寛和尚の面目がある。」

十

世の中にまじらぬとにはあらねどもひとりあそびぞわれはまされる

良寛はかうも歌つてゐる。」——僕はこの一節と『酒を』とについて、そも／＼この一文を書きたいと思つた次第である。

學藝界

○錦杏吟社　四吟行　十月一日東小門外貞陵里興天寺へ。同日午前十一時卅分昌慶苑電車終點に集合、途上所見雜詠五句席題五句。會員外は幹事宛に限り參加をのぞむ雨天のときは延期

○大邱富士　川柳誌、大邱市香樹梢一の三四二川柳銀句會から發行。

○野山世氏（畫家）廿八日京城發釜山へ。寫生旅行。

○新田如氷氏（俳人）京畿道警務に轉任した。

○中林英磁氏（同）第一女學校より總督府學務局編輯課屬託に轉任。

私設學校を助成し官私觀念を去る

文部省の教育改善對策

文部省では教育制度の根本的刷新を主眼とし其第一次企畫として先づ中學校入學試驗撤廢を實施しこれに次いで一方高等專門學校の學科增設を實施する事に決定したしかして學級增設と必然的に聯繫するものは中學校の學科内容の改善であるがこれもすでに文部において大綱の研究が出來上つてゐる模樣である。なほ以上の問題は官公立學校および私立學校の二方面から考察せねばならぬ所であるが當局としてはこの際私立學校の助成に非常な努力をなすべき方針でこれには大學專門學校中等學校の全般を通じて一樣に斷行する事に決定してゐる。まづ大學については現在私立大學二十二校中七校はすでに補助費として總額二萬五千圓づゝ十ケ年の補助を受けてゐるのであるが他の十五校はまだこれを受けてゐないのであるからこの際において全部にこれを交附するはづである。又專門學校および中等學校についてはその補助程度は當局においてなほその研究を續けてゐるがその範圍にそれば現今の私立學校はその教員の質、設備が劣いからこれ等を助成して官公立學校と同樣なものに充實することをはかる方針であるその理由は入學難緩和は學校の增設にまつ所が多いのであるが現今の如き規定された設備ではこれを許さない事情にあるから學校增設の代りに既設の私立學校を極力助成して入學者の收容力を增大し官私の觀念を一掃しようといふ方針に出でたものでこの私學助成は先の試驗制度改善と共に文部省が樹立した改善の大綱として公表せられてゐる。

宗教童話　聯盟成る

顧問は現代大家

宗教兒童教育の自覺が教界に高まり近くは文部省に於て兒童宗教教育の話が一決していよ／＼これが實際の途につかむとする折柄新に又宗教童話研究聯盟の組織を見るに至りその顧問としては梅原眞隆、高楠順次郎、巖谷小波、久留島武彦、隈部等の諸氏が夫々これに任じ眞にその趣旨の徹底に努める事となつた。然して右組織の事情について仄聞する處によれば從來宗教童話なるものは佛教にありてもキリスト教にありてもとかくその宗派や教派のドグマに捉はれて無やみに説教の臭氣を放つたり六ケ敷しい數字を入れたりして兒童の心理に即したものが甚だ少い。これによつて同聯盟ではこさはしく宗教的信念を涵養しようとするのであると因に同聯盟の主旨および事業は左の如くである

一、本會は宗教童話日本聯盟と稱す。
二、宗教童話の研究と普及並に宗教關係の童話家及童話に理解ある宗教家等の聯絡親睦を計るを旨とす。
三、本聯盟の事業として
一、宗教童話研究
一、宗教童話創作發表
一、講師派遣
一、聯盟大會開催
一、兒童大會
四、本聯盟は汎く宗教童話研究者創作者、講演者、宗教童話の趣味あるものにて組織す

クレーグの版畫集（上）

内野健兒

世界的名優たるヘンリイ、アーヴィングとエレン、テリイの舞臺姿をうつし出したイー、ゴルドンクレーグの版畫集を永田雨雄氏から贈られた。複製藝術の第二篇で菊倍大の大版、原本通りの味ひを出したいとの念願からすべてが注意深く取扱はれてゐる。版師も日本一の工人を選んで、これ以上の複製は日本で不可能と思はれる。僕は舞臺藝術に暗い。版畫にも明かでない。いはゞ猫に小判であるかも知れない。併し幸ひ僕にはわからぬ要素が包まれてゐるので、專門的見地の鑑賞は出來ぬながらも、秋燈の下、繰りひろげて限りない藝術の甘味に何とはなしに陶然をふり立て得るのである。尤も自分があまりにかういふ種類の智識に乏しいのを、名優帖を前にしては、顔がないわけにゆかない。役者振に名うての寫樂や春章や、さういふ日本ものにも通じてゐない者であるもしさういふものに通じてゐたなら東西の芝居繪に就ての比較論も出來よう。たゞ何かで讀んだものゝ一端に、西洋の版畫は平面的で、日本の版畫は立體的だとかいふ事があつた。成程さう云へばクレーグの版畫も立體的な所もある。顔面の凹凸が生きて居る。がこれに反して寫樂や春章の描いたものは……と云つて見た所でそんな初歩的見解に何の面白味があらう。

假令アーヴィングがどういふ劇場でどの程度で上演したか、そしてどういふ舞臺で演じたものが好評を博したか、又エレン、テリイがいかに國家的優遇を受けたかいかなる所に優越した技巧があるか、さういふ智識に持ち合せなくとも、自から彼等の扮裝と表情がもたらす感情のゆらぎと力の線が感得出來たらいゝのではあるまいか。

僕はかういふ無智者の顧望をふり立てゝ、一枚一枚にクレーグによつて深淵と示現される名優の前に立ち向ふのである。

一體にクレーグの線は單純だそれは單純から單純へ終始する單純ではない。一線にも無限の味ひと不盡の力をこめてゐる。複雜な單純化だ。複雜は複雜として表現し易い西洋畫家にこれは珍らしい東洋的風格だ。それは簡潔の示すものは作品。疑するものではないか例へば頭に於ける一八九九年のアーヴィングの像である。あの左足の線の地より離れようとして離れず、彼の身體の全體にある一つの浮揚を與へてゐる微妙さ。また第二輯目に於ける同じく一八九九年の第二輯目に於けるエレン、テリイの外套が向つて右側の衣褶によつて手にしてゐる味はひ。また第三葉に於けるロンドンのタイム劇場に於けるオリバア、トウイストに扮せるビル、サイケに扮せるアーヴィング、第八葉のザ、リオンス、メールに於けるレスルケに扮せるアーヴィング、第十七葉のロベスピールに於けるタメンに扮せるアーヴィングなどには樣々な無限の現實と夢とを孕らだ線が息づいてゐる

運命の歩み（九）

鈴木郁夫

11

慰安所と醫師の勸めによつて正巳は海濱に近い療病院に入院した。病院に入つてから、正巳は松籟の音と濤の響とを聞いて日を送つた。光子は正巳の病室を開けてもらつて窓の上から海を眺めるのが樂みだつた、細い色の海面が、多の陽に光るとき正巳はかうして幽鬱のやうな色に變つた。正巳はかうして陰鬱な病院で光子に看護されながら死んで行くことは今はなんだか好ましいやうな氣さへするのであつた。それはあきらめが生んだ超越的な感覺でもあつた。

孤獨な正巳に陰鬱の日がやつて來た。光子の顔には悲痛な色がみなぎつてゐたそこにも一つの諦らめと、諦らめられぬ未練が交錯してゐた、けれども死んで行く正巳の心をしつかとつかみ自分は正巳の心にしつかりとつかまれてゐる實感がありさへすれば……それ以上を望んでも駄目だとおもつてゐた。

冷酷なる運命はなんといふ恐い文字をにせねばならない日が來た。

醫師もあわたゞしくくれ逝かんとして、冬の冷たい雨が、さびしく、しと／＼と降る夜だつた、雨は落ちなく松の葉を打ち、砂地にしみ込む。風もないのに、浪には頭の音が高かつた。

正巳が臨終のベットの枕許には危篤の電報で呼ばれた彼れの兄や父母などが集まつてゐた。正巳は白い毛布の下に消えるやうに細かつた。醫者はついてゐてくれたけれども、もうこうなつては何のなすべきこともなかつた。たゞ時々毛布の下に手を差入れて正巳の脈をみるだけだつた。

12

『どうか、正巳、僕が判るか？』彼の父はそういつて正巳の顔をのぞき込んだそれが通じたのか、既に死相を現してゐる正巳の顔の上に、何か頷くやうな色が動いたと思ふと、むづむづとして何かいはうとするらしかつた、すぐにはいへなかつた……と正巳のその唇から細い弱々しい聲が、出切れ／＼に洩れた。

『芳……芳子……さん……？』

それはほんとうにあるかなしかの聲だつた。光子は赫く泣きはらした目を彼の顔に寄せて、又新らしい涙に襲はれてゐた。それつきり正巳は精も力も盡き果てたかのやうに。眼を閉ぢてしまふと、唇だけがたゞ僅かに動くのであつた。こうして正巳は廿三を一期の名殘にこの世の短い人生を終つた。

翌日、黒い布に包まれた、正巳の遺骸が、幾つかの花輪に飾られて病院から運び出されると雨の松原道を通つて停車場に運ばれてゐた。

その年も暮れた。淋しく暮れた。

死刑の判決にあけくれ涙の乾くひまのない。光子は、また淺い夕べ、しよんぼり實家に歸つた。かつては世の中のあらゆる幸福を一身に集め得た誇りやかな喜びの肉に、別れをつげていでし我家の門を、今は人生悲哀のドン底にあへぎ苦しみながら海拔の蟲のやうな姿を、やゝもすれば倒れやうとするたへながらの弱々しい心と足どりに、ようやくらうとは……？何といふ數奇な運命のいたづらだらう。あまりの悲さに、泣き腫けた眼からは涙の泉も枯れたかと思はれる程であつた。

戀はつらし。戀はかなき、うたてさ今しみ／＼と味はふのであつた、想へば短い人生の夢であつた。光子は強く惹を瞑りを堅する正巳の意に捧げた一事を悲みのなかにも、わづかに慰めてゐたしかしそれが却つて強い未練の種となることを彼女は悟せて苦しまねばならなかつた。

慰藉から諦念へ、……憧憬の滅亡には通り魔の惡戯であつた。光子の生活は彼女に何を與へ何を教へたであつたでせうか。

それから戀愛も誰なかつたが、かつて輝かしかつた彼女の姿は雀て社交界にも、そして時にも見ることが出來なかつた。

その後幾分、藝術界は彼女の時を待ち切つてゐた或者は○○の姉前で舞踊をしてゐるといひ、或る者は若い男と手を攜へて○○に行つたといひ又或者は○○で稽古をとつてゐるといつた。

或は非常に近かつた。深い霧の○○町に寂しく暮らしてゐるのだつた、彼女はなまめかしい色の帯に晒やつれした顔をなまめかしくいろどらせすさみ切つた肉のかほりを、血に飢ゑ、肺を蝕むるものにゝぢひ寄る男性の前に、淫蕩なこびと共に賣ながら生きて行く。

彼女が何の爲に淫婦になつたか如何なる譯で肉慾の奴隸になつたか。それは恐らく解け得ない謎であらう。たゞ不思議なことには彼女は丙午であつた。

戀敵すきな運命の神はどこまで可憐な光子をもてあそんで行くのだらう。（完）

京日文苑課題

短歌　題　垣　一人五首、用紙半紙、尾上柴舟先生選
川柳　題　壺　一人五句、用紙半紙、井上剣花坊先生選
俳句　題　砧　一人五句、用紙半紙、高濱虚子先生選
締切　九月三十日
會報　短歌、川柳、俳句共一人三句以上を合に限る。
注意　雜誌、住所姓名明記、京城日報社文苑係宛

子規忌

カリタゴ發行所

九月十七日夜、木浦カリタゴ發行所主催のもとに子規忌を開いた會場たる淨土寺に集る者三十名、榮山浦よりも來會者あり盛會「子規忌」と「榮山子」の句作に耽り思ふ存分に俳三昧に耽ることが出來た當夜の主なる句を拾ぐれば

十二點
盆提灯石あり遺稿哉　朴春組

六點
漢江や岡岸なべて黍畑　宮崎洞

五點
島蔭に掛けてある朝戸哉　富士郎
凄じき栗の毬飛し沈む日ぞ　一靜
月揚げて風ありなしや栗畑　菅井子

四點
汐引くや榮山子の島わたり　星洞
城外に連る山も榮山子哉　児但子
栗風やカンテラ更くる士研家　同
我家は提灯で栗がくれ　三猿郎

三點
榮山子立てゝ戻る漢哉　虹乙
草庵や門畑の栗風　朴春組
古びたる父の俳譜子規忌哉　同
暮色濃き雨の榮山子夕風に一と踊り　三猿郎
鉢瓜忌我弟子住句一つ　同
提灯や次第上りの栗畑　同
島に來て栗畑ある榮山子哉　怪牛
汽車待ちの頭上に子規忌　富士郎
淺江の中の島みな栗畑　宮崎洞

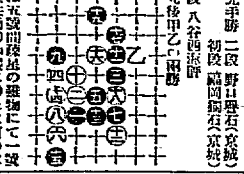
其他
栗風や提灯かざし夜卵ひ　柳浦
栗の毬を踏ぎ越しの便哉　静川
月出でゝ子規忌の句に入る猶酒　月冠
更落人の句に入る子規忌哉　やすす
九月の八人かと思ふ榮山子哉　雨竹
大栗山子呼ぶやに靜かなり　江東
周衣の畑の朴氏や陶祭忌　紫蔭子

木浦
朝霧もはての一寺や陶祭忌　春江
水田にかこまれ畑や栗熟る　笑舗
夕陽に栗畑つゞく峡野かな　鮮宮
雨寫道栗畑風を避けて行く　春水
冬生に句座の兄の頂祭哉　方水
久方に句座も數多で子規忌哉　金玉
披にも行き栗園通るも秋に　枯月
草庵に佛と泊る子規忌かな　細蔭

聯珠實戰譜（21）

先手　二段　野田縁石（京城）
後手　初段　高岡樹石（京城）
三段　八谷西泥評

●十九後甲乙二兩勝

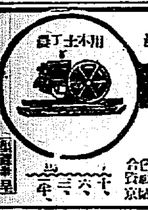


本局は五號間接星の雜物にて一說黒長星黒の●五目の勝●九に打つべし○四と●五と引き●七と組まれて○八●九の勝あり本局の取り甲要なき本局の斷黒の追語節は必りに取要なし好者には是認たり

位一第　級甲優秀　農林省比較審査

インターナショナル　石油發動機

日本總代理店　合資會社泰明商會京城出張所　京城黄金町一丁目電話本局三一〇一番



義手足　理想脱臼帶　專門製作　高野製作所　京城長谷川町（公會堂筋向）電話本局六七

醫學博士　二宮亮吉　產科婦人科　二宮病院

資本金壹百萬圓

株式會社　三南銀行　頭取　朴基順

本店　全州　電話一三七・一四六番　振替京城八一八一番
支店　裡里　電話一二〇七・一七番　振替京城三八〇二番

一粒通じ薬　チーカ

便秘は長壽の敵　チーカは一粒にて痛まず通ず　安全にして習慣とならず

定價　三十錢　五十錢　一圓　二圓

東京日本橋室町三井ビルヂング　泰昌製藥株式會社

お襟のお化粧下に一番よい美身料

クラブつぼみ

クラブ白粉發賣元

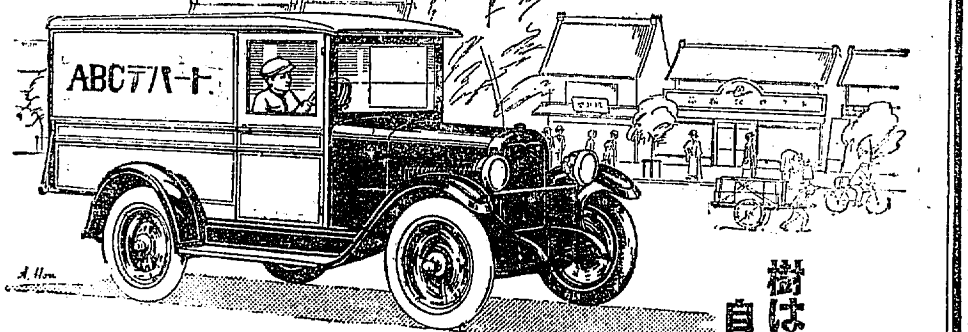
タバコのみの　歯磨スモカ

ケムに染つたヒゲの茶を取りするスベは知らず　ヤニに染つたへの黒さを白うするにはスモカあり！

定價　十五錢　各藥店にあり

116

CHEVROLET



樹は其の實によりて知られ　自動車は其需要によりて證明さる

無比の成績を誇りとする　シボレー半噸積コムマーシャル・シャシー

本車臺の優越的價値は左の六特徴で盡きてゐる

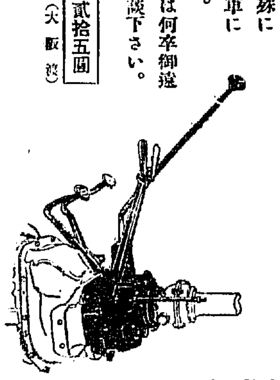
操縱の容易　一層なる運搬作業
積載貨物の安全　運轉諸經費の節約
驚くべき耐久力　最好適のバス・サービス

シボレー半噸積コムマーシャル・シャシーの所有者及び使用者が日に月に其使用臺數を增して ゆくのは收益が非常に多いからである。

本車臺は各種のパネル・ボデー、エキスプレス・ボデーを取附くるに適し、殊に八人乘り乘合自動車には最も適してゐる。

運輸問題に就いては何卒御遠慮なく弊社に御相談下さい。

定價　金壹千五百貳拾五圓（大阪渡）



日本ゼネラル・モーター・スー株式會社
大阪市港區鶴町一丁目

先づ兩軍の偵察戰

戰の火蓋は切られんとす

あと三日に迫つた開戰の日

全鮮の人氣湧返る

紅白兩軍が、互ひに必勝を期して秘密裡に戰略を練めて居た本社主催の都市爭奪リレーは、最近に至つて漸く兩軍の偵察戰に移り、戰機は熟していよいよ後三日を以て戰端を開くことになる。これまですべての策戰は伏線となつて全鮮に張られて居たのであるが、一度戰ひの火蓋が切らるれば、兩軍の策戰が一切明るみにさらけ出されるのである。しかも兩軍の選手は既定のダイヤグラムによつて競爭するとはいへ、敵情によつては如何なる臨機の處置が講ぜられるかも知れない、そこに策戰と實戰についての興味が興られるわけである。今回の都市爭奪リレーがどんなものであるかは、昨紙本紙に詳細に解說したが、全鮮の交通網を極度に利用することであり、かつ代表的な卅都市を兩軍選手が訪問するのであるから、各爭奪圏内にある都市、鐵道關係者等は、この壯擧に双手をあげて贊成の意を表し、その爭奪方法も各地それぞれ[illegible]の趣向が凝らされて居るのである。けれども何日何時に、何軍の選手が、いかなる都市に出發するかは、一に兩軍の策戰によるものであるから、いよいよダイヤグラムの發表によつて發表されるわけである。從つて各都市、各驛でも目下は、しきりに想像を逞しくしてゐるに過ぎず、戰況の一切が巧妙な機械のやうに組織的に動かされるに拘らず、その戰況は飽まで秘密であるといふのが本競爭の興味である。[illegible]すでに盛んに應援の準備が進んでゐる[illegible]といふ人氣である。なほ大會役員は次の通り決定したが、[illegible]發表のはずである。

全鮮廿都市爭奪リレー役員決定

名譽顧問 朝鮮總督府内務局長 生田淸三郎氏
同 鐵道局長 大村卓一氏
會長 京城日報社長 伯 副島道正氏
副會長 京城日報副社長 松岡正男氏
理事長 京城日報支配人 飯島宗也氏
總務部長 京城日報編輯局長 笠神志都延氏
審判部長 朝鮮總督府鐵道局理事 戸田直温氏
通關部長 朝鮮總督府地方課長 矢島杉造氏

ウ中尉が優勝

【ベニス二十六日發】シュナイデルカップ獲得水上飛行機競技大會において英國デー、エス、ウエブスター中尉が優勝した。同中尉は一時間平均二百八十八マイルの速力で三百五十キロの三角形コース[illegible]優勝したもので、これは世界的新記録である

南獨逸の洪水

【ナウエン廿六日放送】南ドイツにおける諸河川は五十年來の大出水で、氾濫の恐れがある。なほスイツツルの東南諸市より警報頻りに來り、何れも大洪水を傳へてゐる

ライン河上流大出水

【ジュネーヴ廿七日發】ライン河出水し、スイス國内オーベルランド、グーイソン、テシンの地方において多數の死傷者ある見込みである。鐵道は不通となり橋梁の流失するものおびたゞしく、軍隊を出動して被害地の救援に從はしめてゐるなほゼネヴァ附近でも八名の溺死者があつた

西部墺國の大被害

【ウインナ二十六日發】西部オーストリヤおよび東部スイスに起こつた大洪水のため死者十四名、家を失つたもの五千名を出した。山地よりの大出水により諸川の水益增し、諸地の鐵道電信電話が破壞されてゐる

哈爾賓の民會 獨立團に襲はる

會長以下を縛り上げ 解散せよと捨臺詞

【ハルビン廿六日發聯合】東支鐵道東部線[illegible]に根據を張る朝鮮獨立團本部の兇漢數名はかねて東支鐵道沿線の朝鮮人民會に對し解散を強要してゐたが、廿六日午前一時五十分頃[illegible]一味四名は突如ハルビン[illegible]朝鮮人民會を襲ひ民會長[illegible]をしばりあげ[illegible]解散せよ[illegible]と捨臺詞を殘し[illegible]

藝妓の取込詐欺

[illegible]

白軍選手の陣容

前列左寺田司令、右西本選手 中列左から秋田、米倉、平田の各選手▲後列立石選手

共產黨事件公判 又々揉める

辯護士側要求を固執 昨日も終に開廷不能

朝鮮共產黨事件公判第七日は、[illegible]辯護士側から要求事項の承諾を待[illegible]午後一時から更に第一[illegible]、[illegible]

職業紹介に力瘤を入れる

釜山をはじめ各地に 紹介所設置の計畫

朝鮮總督府社會課においては[illegible]ける職業紹介事業について府[illegible]公共團體に各種職業紹介所[illegible]して職業紹介に努力せしめ、これが指導獎勵につき留意しつゝあるが、[illegible]一般的において[illegible]

百萬圓を寄附

【大阪特電】[illegible]

膠州救助の爲 軍艦春日急行す

救護材料を積んで

【橫須賀電話】遭難膠州の遭難地[illegible]

龍山署の山田巡査表彰

[illegible]

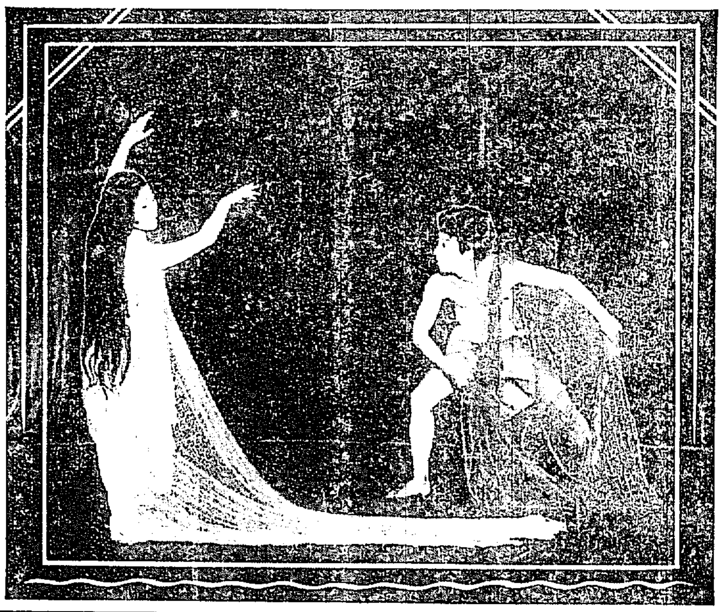
石井漠氏兄妹來る

美しい崔嬢が始めての鄕土訪問

來月下旬本社の招聘で

新舞踊で人氣の絶頂にある天才石井漠、石井小浪の兄妹は、多分來月下旬本社の招聘で來鮮するはずである。今回の一行は十余名で、メンバー[illegible]プログラムの上にも[illegible]

一行の花形としては、崔嬢の舞踊[illegible]



朝鮮のメートル出版さる

[illegible]

追悼會

[illegible]

產婆の使命を朝鮮婦人が諒解

相當地位の人が講習應募 周防衞生課長語る

[illegible]

驛員の妻が飛込自殺

【大田電話】[illegible]

獵天狗を訪ねて（九）

クレ射ちでメキメキ上達

素晴らしい獵犬の持主 中田幸三郎さん

[illegible]

和田頭取が講家名鑑出版

[illegible]

肉親の生血を啜る鬼夫婦

薄命に泣く妓生白山月 鬼夫婦が抑つて告訴

[illegible]

電車から手を出して大怪我

[illegible]

漁船の遭難

[illegible]

府廳勝つ 17—0 實業野球の最終戰

[illegible]

松島君送別 野球

[illegible]

實業 球決勝

[illegible]

スポーツ

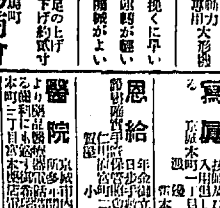
朝鮮神宮競技 蹴球協議會

[illegible]

リンゴ カステラ

りん滅法 リード

千歲旅館

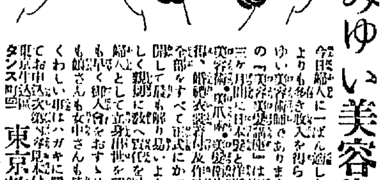


高井兄弟商會 豆腐機械 東洋一

コウライ柳 水月堂

牛乳 荒井牧場

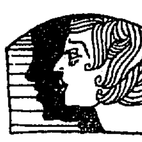
北島醫院



女かみゆい美容術師 男子よりも收入多き高尚な 東京整容學院

懷中要藥 清心丹

京日案内 貸間 裁縫 寫眞 恩給 醫院 恩給 ほね 外務 店員 店員



孔雀（8）

古川實作
大村安次郎畫

雷　鳴（8）

孔雀はわれに返つてフト眼を見開くと、心配さうにしてゐる潔山の顔が、彼女の上へのしかゝるやうにしてのぞき込んでゐるのが眼に映つた。その時の不安げな色った顔の上に段々と愁色が漲いてゐた。そのたゞならぬ室内の容子を孔雀の方では却つて不審に思へた。

『何うかしたんですか？』

『いえ何でもないんです。貴女は静かにしていらつしやらなければいけません』

今まで病人の脈搏を數へてゐた醫者はかういつて、何か眼で合圖をしながらソッと病人の手から自分の手を離した。そして人々の方へもう安心だといふ合圖に笑顔を向けた。

『私どうかしたんでせうか？』

そういつて病人はそこに並んでゐる人々の顔を見廻した。

『貴女は卒倒なすつたんです。然しもう大丈夫です』

醫者は眼に落ちつき拂つて答へた。

『ハイ――』

小母さんは急いで部屋を出て行つた。間もなく戻つて來て、

『すぐに參るさうでございます』

三十分後には孔雀は人々に見送られながらお鶴に助けられて自動車にのつた。釋迦嶽が心配して途中まで付いて行くといふのを無理に斷つて孔雀はお鶴と二人自動車にゆられながら我家へ向つた。途中自動車の中で孔雀は昨夜から今日にかけてあまりに突然、何も彼も一時にごつちやになつて我身に降りかゝつて來たことを思ふて胸も裂けさうに悲しかつた。彼女は堪へても堪へても後から湧き上つて來る悲しみに、今はもう齒をくひしばつて我慢して居られなくなつた。そして家へ着いて自動車から降りて、お鶴の肩に手をかけて縋つて暗い階段を上りかけた時、彼女は闇の中にへたばつてしまつて急に嗚咽を洩らすやうな聲を立ててすゝり上げた。

『こんな處においでになつては聽かれるとよくありませんから、さあ、お部屋へ參りませう。それにこんな處をほかの人に見られるといけませんから。』

お鶴は無理にも引起こすやうにして、漸くの思ひで階段を上つて我部屋へ孔雀をつれこんで、寢床に休ませた。

『私口やしい！……』

孔雀は泣きながら叫んだ。

『私も口やしうございます。私はお孃樣のお心の中をお察し申します。どうしてこんなに不幸ばかりつゞいて參つたのでせう』

お鶴も悲憤の餘に眼瞼つて泣いてゐた。

それをきくと病人は急に眼を開いて、

『卒倒……私卒倒しましたかあ、私が卒倒しました？……そして私の役はどなたが代つて演つてゐて下さるんです、私の役……』

といひながら布團をけつて起きた。

『靜かに〳〵』

醫者は病人を寢かすやうに人々に眼で合圖をした。

『舞臺の方は大丈夫です。汐路さんに代つて演つて貰つてゐますから。プロンプターでどうなりかうなり役だけは埋めてゐますから安心してゐて下さい』

トルコ帽をかぶつた舞臺監督がいつた。

『大變な迷惑を掛けましたのね…』

そういつたと思ふと病人の眼から急に涙が流れ落ちた。

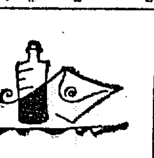
『出來うることなら貴女は舞臺を休んで暫く靜養なすつた方がようございます。貴女は非常に疲れておいでになる、しかも精神上にも肉體上にも、ですから温泉へでも行くか又靜かな土地へ行つて暫く身體を休めなければいけません』

醫者は仕度をしながら監督は病人に注意した。

『私の宅へ電話を掛けて女中に直に迎ひにくるやうにいつて下さい』

病人は人々の顔からうき漾ひの小母さんを見つけていつた。

紙上病院



尋麻疹

【問】廿一歳の男、小學校五年頃より寒風に觸れると直ちに身體の不快を感じ風の當たる所は一面に大豆位の吹出物が出來て痛痒を感じます何病でせうか又根治するでしようかな任治療には何日位かゝるでしやうか（眼世見）

答＝蕁麻疹でせう、體質のものはなほり難いものですが多くは全治するものです體質のものは種々の服藥を續けた方がかへつてよい事がありますその治療日數などは明かには申し上げられません、も少し治療して御覽なさい（皮膚科外科瀬戸病院長）

陰嚢が青い

【問】十九歳の男、陰嚢の表面が青色になり入浴すれば消えます何か病氣ではありませんか（一讀者）

答＝網の色さもつい〳〵のでせう上く注意して御覽なさい（皮膚科外科瀬戸病院長）

尋常性白斑

【問】一、尋常性白なまづの塗附液を御教下さい二、白なまづの擴大を止むる方法は三、患者は食餌に衞生の方法ありや（愛讀者）

答＝一、塗附藥は皮膚に一寸茶色位にそめる位の効力よりない二、擴大を止むる方法なし三、攝生法不明なり（皮膚科外科瀬戸病院長）

脱毛

【問】腸窒扶斯病後でもないのに非常に毛髪が抜けます（一晩百本乃至百五十本）何かよい療法はありませんか（H・S生）

答＝八、九、十月は秋毛といふてよく脱ける時です普通平均一人一日に[illegible]

子宮肝斑

【問】卅二歳の女、顔面に茶色のしみが出來て醜に見ぐるしくて困つてゐます何か適當の療法は御座いませんか（すみ子）

答＝子宮肝斑らしいです、内臟特に子宮の疾患でもあるか、姙娠中とかにはよく出來るものですその原因をなほすと自然になくなります（外科皮膚科瀬戸病院長）

痔核症

【問】最近大便をすると血が附着してゐて少し痛みを感じます病名及び病名治療法を御教へ下さい（李甲男）

答＝痔核症ではありませんか、鑑定はわかりませんが沐浴便通をよくする事、肛門坐藥（これもかぶれる人あり注意を要す）でも試みなさい（外科皮膚科瀬戸病院長）

射精時

【問】射精には普通何分位かゝるものでせうか三分位で射精するのは早漏でせうか（二十五才既婚者）

答＝故意に永びかせぬ限り普通三分乃至五分位でありませう三分なら早漏とは申されません（外科皮膚科瀬戸病院長）

皮脂漏藥

【問】瀬戸病院長様の答へ中のアケ取香水の分量調合をなほ一度御教へ下さい（一愛讀者）

答＝レゾルチン五・〇、沈降硫黄八・〇、水一五〇、精油五・〇ベルガモット油數滴女が使用する時は樹油を一〇・か二〇・〇にする方がよい（皮膚科外科瀬戸病院長）

腋炎

【問】四十一歳の女、腋の中から時々少量の膿が出ます、臍には異狀ありませんが、よい療法を（お尋ね生）

答＝成人の臍から膿が出る事は少いのであります濕氣化水素水で毎日拭いて置いて見なさい治らなければ醫者に見て貰ふ事（外科皮膚科瀬戸病院長）

讀者らん

▲廿七日の京城日報へ伽藍織だつて人間さ、然し人間の道を説く人でも我利〳〵亡者で損をする[illegible]

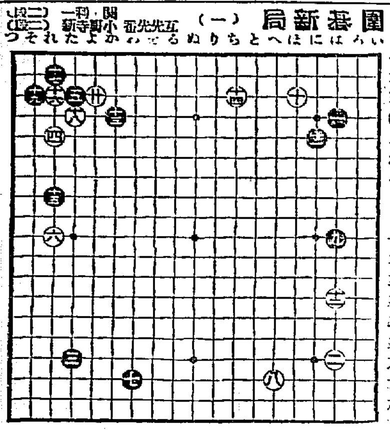
▲廿七日の貸人聞欄につく、現銀主義を强要しあへば現下の状勢からの世間の惡の[illegible]

▲十八日の御嬢ね生様、間の[illegible]

（電本一五九二番まで（上尾）

圍碁新局（一）

五段 先 瀬越憲作
關 小野田千代太郎（四段）
一科 新寺



一 い	十八 へ十七
二 は	十九 た十六
三 は	二十 は十三
四 に	廿一 に五
五 へ	廿二 れ四
六 と	廿三 そ三
七 ち	廿四 わ十七
八 り	廿五 よ二
九 ぬ	廿六 れ三
十 る	廿七 は十六
十一 を	廿八 ほ三
十二 わ	廿九 た三
十三 か	卅 ち四
十四 よ	
十五 た	
十六 れ	
十七 そ	

演藝案内

大正館 二十八日より特別大興行　新珠　前後篇十二卷　二十八日より大興行　**砂繪呪縛**　全十卷
喜樂館 日活現代劇部作品　**蠻勇突進**　五卷　信州血哭篇　八卷
黄金館 街燈　全五卷　夜叉公子　後篇
中央館 鍵穴　全六卷　隱密　全八卷
京龍館 照る日くもる日　アフリカ探險家　全三卷
浪花館 現代奈良丸一行
京城劇場 曾我廼家勝子一行

不斷の進歩　不斷の御愛用

○ミツワ石鹸

不斷の品質向上の爲め理學博士 小平　勝氏、科學的研究に從事す 工學士 河村正經氏、農學士 三澤次郎氏、技術家諸氏 工學士 野中正夫氏

露團々

◇秋に成ります。皮膚のお手入れ
◇毛髪の衞生に、御注意下さい。

西洋人と違つて一般に脂つぽくて荒易い邦人の皮膚は、暑熱の後を受けて特に緩み疲れ、從つて荒れて居りますし、又毛髪は秋に入つて兎角に故障の生じ易いものですから、此際、特に邦人の皮膚毛髪に適切なる樣、不斷研究の悉された居ります、作用の緩和な

○ミツワ石鹸

をお用ひなさいます樣。絶對に之を荒らさず、しつとりと整へます加之、經濟からも亦之が一番です

お知らせ
從來の此の『○ミツワ石鹸』の外に今度『固形入』三ツワ煉石鹸』を發出しました。價段は廿錢です。共に御愛用を冀ふ

本舗 東京 ○丸見屋商店

定期航路

博多航路　郵船　遼江丸
〇仁川出帆（代理店内國通運支店）
〇木浦出帆（代理店山田回漕店）
〇釜山出帆（取扱店大池回漕部）
〇元山出帆（代理店内國通運支店）
日本郵船出帆
◇金剛山航路　かも丸
朝鮮汽船出帆

大阪商船株式會社

關門、神戸、大阪行（群山木浦經由）
名古屋、清水、東京行
長崎、鹿兒島、三角行
大連行
清津、雄基行
元山出帆
京城代理店 内國通運

内地各港出帆主要航路

歐洲行毎月一回、南米行毎月一回
京城代理店國際通運株式會社支店
專屬代理店 仁川港町大廣組支店